



世界最大級 旅の祭典

ツーリズム EXPO ジャパン2023^[大阪]_[関西]

2023年10月26日(木)~29日(日) インテックス大阪

ひらけ 未来へ



未来に出会える旅の祭典

[出展者数] 世界 **70** 力国・地域**1,275** 企業・団体[来場者数] 合計 **148,062**人10月26日(木)／業界・プレス日 **23,071**人10月27日(金)／業界・プレス日 **26,089**人10月28日(土)／一般日 **48,305**人10月29日(日)／一般日 **50,597**人

【主 催】公益社団法人日本観光振興協会／一般社団法人日本旅行業協会(JATA)／日本政府観光局(JNTO)



ツーズムEXPOジャパン2023 大阪・関西 “ニッポン再始動”を関西から発信 148,062人が来場！

公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）は「ツーズムEXPO ジャパン2023 大阪・関西」を2023年10月26日（木）から29日（日）にインテックス大阪で開催。9回目となった2023年は「未来に出会える旅の祭典」がメインテーマ。2025年大阪・関西万博に向けて活気づく大阪で、世界70カ国・地域から1,275の企業・団体が出展し、会期中の来場者数は148,062人に上りました。

10月26日（木）、27日（金）の業界日のフォーラムは、「未来のために、ツーズムを『再考（Rethink）』する」をテーマに実施。「新たな時代の万博を共に創ろう」と題した基調講演のほか、9カ国の観光大臣・観光行政トップ、国際観光機構5団体のトップが集結した「第6回TEJ観光大臣会合」では、持続可能なツーズムやコミュニティについて多様な意見が交わされました。これらの模様はライブ配信され、会期後も公式サイトアーカイブで見ることができます。10月26日（木）の記者会見ではJATAの高橋広行会長が観光再考の意義について「SDGs、脱炭素への対応を含めたポストコロナにふさわしい旅行を開発していく必要がある」と説明しつつ、「新しい時代のスタイルを幅広く展示した今回のTEJを契機に、万博に

つなげていく」との意気込みを示しました。

商談会は、529名のバイヤーと1,037名のセラーが参加し、事前アポイントメント制で5,768件の商談が行われ、再成長の機会を逃すまいと、これまでにない積極的な商談活動が目立ちました。

出展企業・団体においては、持続可能な観光や万博、新たな働き方に着目したワーケーション、VRによって過去と未来をつなぐといった未来志向の展示が多く、10月28日（土）、29日（日）の一般公開日も含めて参加者から好評を得ました。

日本人のグローバルへの扉を開いた海外旅行自由化から60周年のタイミングとなる来年の「ツーズムEXPOジャパン2024」は、2024年9月26日（木）から29日（日）まで東京ビッグサイトで開催される予定です。



左から：ツーズム EXPO ジャパン 2023 大阪・関西の広報アンバサダー NMB48 小嶋花梨さん、出口結菜さん、塩月希依音さん、日本政府観光局（JNTO）理事長 蒲生篤実、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）会長 高橋広行、公益社団法人日本観光振興協会 理事長 最明仁、公益財団法人大阪観光局 会長 福島伸一氏、大阪・関西万博公式キャラクターミャクミャク

ツーズムEXPOジャパン 実績

年	2014年	2015年	2016年	2017年
出展者数	世界151カ国・地域／国内47都道府県 1,129企業・団体	世界141カ国・地域／国内47都道府県 1,161企業・団体	世界140カ国・地域／国内47都道府県 1,181企業・団体	世界130カ国・地域／国内47都道府県 1,310企業・団体
来場者数	9/26（金）：業界・プレス日 41,063人 9/27（土）：一般日 61,649人 9/28（日）：一般日 54,877人 合計 157,589人	9/24（木）：業界・プレス日 5,860人 9/25（金）：業界・プレス日 40,622人 9/26（土）：一般日 64,959人 9/27（日）：一般日 62,161人 合計 173,602人	9/22（木）：業界・プレス日 7,011人 9/23（金）：業界・プレス日 42,023人 9/24（土）：一般日 70,012人 9/25（日）：一般日 66,798人 合計 185,844人	9/21（木）：業界・プレス日 8,671人 9/22（金）：業界・プレス日 42,057人 9/23（土）：一般日 74,040人 9/24（日）：一般日 66,809人 合計 191,577人

※広報イベントJAPAN NIGHT（日本橋エリア）一般来場者は別途15,200人

年	2018年	2019年（大阪）	2020年（沖縄）	2022年
出展者数	世界136カ国・地域／国内47都道府県 1,441企業・団体	世界100カ国・地域／国内47都道府県 1,475企業・団体	世界30カ国・地域／国内28都道府県 285企業・団体	世界78カ国・地域／国内47都道府県 1,018企業・団体
来場者数	9/20（木）：業界・プレス日 25,928人 9/21（金）：業界・プレス日 40,345人 9/22（土）：一般日 74,021人 9/23（日）：一般日 67,058人 合計 207,352人	10/24（木）：業界・プレス日 19,933人 10/25（金）：業界・プレス日 28,375人 10/26（土）：一般日 51,173人 10/27（日）：一般日 51,618人 合計 151,099人	10/29（木）：業界・プレス日 2,197人 10/30（金）：業界・プレス日 2,438人 10/31（土）：一般日 9,094人 11/1（日）：一般日 10,445人 合計 24,174人	9/22（木）：業界・プレス日 24,794人 9/23（金）：業界・プレス日 18,811人 9/24（土）：一般日 40,483人 9/25（日）：一般日 39,986人 合計 124,074人

ツーズムEXPOジャパン 2023 4つの事業

1 フォーラム&セミナー

「未来のために、ツーズムを『再考（Rethink）』する」をテーマに世界の観光分野のトップリーダーが集結！UNWTO（国連世界観光機関）と連携した観光大臣会合、基調講演、テーマ別シンポジウム、ツーズム・プロフェッショナル・セミナー

2 展示会

出展数：1,442小間、1,275企業・団体（トラベルソリューション展を含む）
「未来に出会える旅の祭典」をテーマに、特集企画展をさらに強化！

3 商談会

登録者数：セラー1,037名、バイヤー529名 商談件数：5,768件
出展者のビジネス効果を追求する展示商談会を2日間開催

4 交流事業

開催初日の「Welcome Reception」では、インド、兵庫、大阪の伝統舞踊や生演奏、華やかなショーなどを披露

相乗効果を生み出す連携イベント

合同開催：VISIT JAPAN トラベル&MICEマート 2023 主催：日本政府観光局（JNTO）
海外の訪日旅行会社（33カ国・地域、258社）と日本の観光関係事業者（300社・団体）が一堂に会して商談会（10月26日～28日）を実施（商談実績：7,395件）

共同開催：トラベルソリューション展 2023 共催：日本経済新聞社
新しい時代の観光ビジネスを支える企業・団体・DX関連サービス企業等が集結（43企業・団体）

Pick up

ツーズムEXPOジャパン2023 大阪・関西の広報アンバサダーに NMB48の小嶋花梨さん、出口結菜さん、塩月希依音さんが就任！

ツーズムEXPOジャパン2023 大阪・関西では、NMB48の小嶋花梨さん、出口結菜さん、塩月希依音さんが広報アンバサダーに就任。「今回、4年ぶりの大阪開催ということで、私たちの活動拠点でもある大阪を盛り上げられるように、少しでもお力になれたらと思います」と記者会見で意気込みを語った。

会期中は、Welcome Receptionに登壇したり、各ブースや飲食コーナーをまわって楽しみながら、広報アンバサダーとして大いに活躍した。



NMB48 キャプテン 小嶋花梨さん



NMB48 出口結菜さん



NMB48 塩月希依音さん

オープニングセレモニー

10月26日(木) 09:30~10:00
インテックス大阪 インテックスプラザAステージ



岸田文雄首相も「観光はわが国の地域活性化の切り札。国内のオーバーツーリズム対策に取り組みつつ、道半ばの海外旅行に対しても経済対策を行っていく」とビデオメッセージを寄せた

大阪で4年ぶり、ツーリズムEXPOジャパン開幕 「未来に出会える旅の祭典」をテーマにリーダーが集結

初日のオープニングセレモニーでは、主催団体を代表して日本観光振興協会の山西健一郎会長が「パンデミックを経て人々の価値観も大きく変化し、観光産業も未来に向けた進化を遂げる必要がある。日本の観光産業が一体となり、旅の未来像を世界に向けて発信する絶好の機会となる」と意気込みを示したのに続き、来賓を代表して国土交通省 観光庁の石塚智之審議官が「今回のイベントは観光需要のさらなる改善への起爆剤となり、意義があるものだ」と述べつつ、『観光立国推進基本計画』の基本的な方針である『持続可能な観光地づくり』『インバウンド回復』『国内交流拡大』という3つの戦略を進めていき、観光立国の復活に向けて邁進していく」と挨拶した。

また、来日した国連世界観光機関（UNWTO）のゾリティサ・ウロシェヴィッチ エグゼクティブ・ディレクターは「本日、会



公益社団法人 日本観光振興協会
会長 山西健一郎



国土交通省 観光庁
審議官 石塚智之氏



国連世界観光機関 (UNWTO)
エグゼクティブ・ディレクター
ゾリティサ・ウロシェヴィッチ氏

場で高いレベルの官民連携の様子を目にすることができた。TEJの成功が万博の万全な体制につながるはず」との期待を寄せた。

【登壇者】

ご来賓：国土交通省 観光庁 審議官 石塚智之氏／国土交通省 近畿運輸局 局長 日笠弥三郎氏／国連世界観光機関 (UNWTO) エグゼクティブ・ディレクター ゾリティサ・ウロシェヴィッチ氏／公益財団法人大阪観光局 会長 福島伸一氏／世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) シニア・ヴァイス・プレジデント マリベル・ロドリゲス氏／インド政府観光省 ディレクター ローシャン・エム・トーマス氏／関西エアポート 専務執行役員 フランソワ・スタレスキー氏／サウジアラビア政府観光局 アジアパシフィック担当プレジデント アルハサン・アルダッバグ氏／日本航空株式会社 常務執行役員 越智健一郎氏／ANAホールディングス株式会社 代表取締役会長 片野坂真哉氏／西日本旅客鉄道株式会社 理事 鉄道本部営業本部長 岩城弘明氏／阪急阪神ホールディングス株式会社 グループ開発室 事業開発部 課長 高木大介氏／近鉄グループホールディングス株式会社 事業戦略部 課長 島田健太郎氏／ハワイ州観光局 日本支局 局長 寺本竜太氏／日本空港ビルディング株式会社 代表取締役副社長 鈴木久泰氏／株式会社BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS 代表取締役社長 吉川健一氏

主催者：公益社団法人日本観光振興協会 会長 山西健一郎／一般社団法人日本旅行業協会 会長 高橋広行／日本政府観光局 (JNTO) 理事長 蒲生篤実

基調講演

10月26日(木) 13:15~13:45
インテックス大阪 国際会議ホール

テーマ 新たな時代の万博を共に創ろう

石川 勝氏
(公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 会場運営プロデューサー)

万博のレガシーは「人」次世代につなぐ大阪・関西万博への意気込み語る

基調講演では、2025年に開かれる大阪・関西万博の会場運営プロデューサーを務める石川勝氏が登壇。万博のあり方の変遷や日本と万博との関わりなどについて話し、大阪・関西万博への意気込みを語った。

石川氏は、1851年のロンドンでの第1回万博以降、世界の主要都市で万博が行われるようになったと説明。1873年のウィーン万博には明治政府が初めて公式参加し、「わずか4年後に日本で内国勧業博覧会が開催されるようになった」と話した。

さらに、もともとは「国家の繁栄」を示す場であった万博が、2度の世界大戦を経て企業も参加した「豊かな暮らし」を示す場に、1994年の博覧会国際事務局（BIE）総会決議によって「課題解決への道」を示す場に変化していったと指摘。「到達点」から「出発点」を示す場となり、環境問題をテーマにし

た2005年の愛知万博につながったと説明した。

大阪・関西万博では、愛知万博で課題となった混雑解消のため、電子入場券などを活用した「万博DX」に取り組むと強調。一定期間ごとに地球の課題について考えるテーマウィークや民間の先端技術やサービスを活用する「未来社会ショーケース事業」なども行うとした。

「万博のレガシーは『人』」と石川氏。1970年の大阪万博が現代社会のリーダー層に大きな影響を与えたことに触れ、「観る万博は、一日。参加する万博は、一生。ぜひ一緒に盛り上げてもらい、歴史に残る万博を実現したい」と力を込めた。



石川勝氏



第6回TEJ観光大臣会合

10月26日(木) 14:20~16:20
インテックス大阪 国際会議ホール

フォーラムテーマ 未来のために、ツーリズムを「再考(Rethink)」する

キーワードは持続可能性とコミュニティ

第6回を迎えた観光大臣会合は昨年に続き、会場でのリアル開催と日英2言語によるオンライン配信によるハイブリッド形式で行われた。9カ国の観光大臣・観光行政トップと、国連世界観光機関（UNWTO）、世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）、ヨーロッパ観光委員会（ETC）、太平洋アジア観光協会（PATA）、アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション（ATTA）の5国際観光組織の代表計14名が一堂に会し、日本からは国土交通大臣政務官の加藤竜祥氏が参加した。

冒頭でUNWTOのゾリティサ・ウロシェヴィッチ エグゼクティブ・ディレクターは「多くの観光地が需要回復し、コロナ禍を上回る地域もある。この回復力をより良い世界への機動力にしたい」と述べた。

その後、コネクトワールドワイド・ジャパンのマージョリー・デューイ代表取締役が司会を務め、「未来のために、ツーリズムを『再考（Rethink）』する」をテーマに、各参加者がスピーチを行った。大半が持続可能性を重視した観光振興や、コミュニティへの配慮や貢献を重視すると述べ、「責任ある観光」「再生型観光」といったキーワードも数多く登場した。

共催：UNWTO



モデレーター



復活した観光の課題を「再考」する時
株式会社コネクトワールドワイド・ジャパン
代表取締役 マージョリー・デューイ氏

観光には経済成長の大きな潜在力があり、コミュニティの確立や文化理解の促進に役立つ。世界中の観光地が再び多くの観光客を迎えているが、一方で地域への影響やオーバーツーリズムなどの課題も再び生まれている。これらに向けてどう行動していくのか、多様な観点から意見が交わされた。

民間部門における世界観光倫理憲章署名式 新たに5社・団体が署名

UNWTOが提唱する「世界観光倫理憲章」の誓約にDiscover Walks、北原、こはく、ライダス、スピリット・オブ・ジャパン・トラベルの5社・団体が新たに署名した。同憲章は各国政府や観光業界、地域社会など主要関係者が責任ある持続可能な観光を実現するために参照すべき規範。世界



の環境、文化遺産、社会に与える悪影響を最小限にしながら、観光産業を発展させることが目的。これで日本の署名団体は全39社・団体となる。

インド政府観光省 Incredible India Visit India 2023 新たな旅先としてのインドの魅力と幅広い楽しみ方をPR



今年初めてツーリズムEXPOジャパンのスポンサーとしてデスティネーションパートナーとなったインド政府観光省。会期初日10月26日(木)にインドを紹介する記者会見を開催し、日本人観光客に向けて新たな旅先としてインドの魅力をアピールした。

インド・デリーから来日したローシャン・エム・トーマス氏は、世界に誇る歴史的建造物の数々、ユネスコ世界遺産、ヒマラヤをはじめとする自然アクティビティを満喫できる国立公園、エコツーリズム、アドベンチャーツーリズムなどを紹介。また、インドの宗教・多様性から神秘性を追求するスピリチュアルツーリズムまで幅広いインドの楽しみ方を提案し、日本マーケット拡大の意気込みを示した。

テーマ別シンポジウム

10月27日（金）10:30～17:00 インテックス大阪 国際会議ホール

日本人の海外旅行促進に関するシンポジウム

●主催：観光庁

10:30 - 12:00

テーマ 新型コロナ感染症後の日本人アウトバウンドの再生・新生に向けて

「すぐに動く」潜在需要2300万人をどう取り込むか

石塚氏が「観光庁は今年3月からアウトバウンド早期回復に向けた政策パッケージを実施している」と述べたのに続き、宮崎氏が今年8月に実施された日本人のアウトバウンド調査報告を行った。海外旅行経験者は45%を占め、うち2300万人がコロナ禍後に海外旅行未実施だが意向を持ち、短期での復活が見込めるとされた。「55 %の海外旅行未経験者のうち約1700万人は海外旅行に関心がある」として、宮崎氏は中長期的な復活にはこの潜在市場に対する働きかけも必要と述べた。

続いて行われたパネルディスカッションではパネリスト3名から各国の日本人観光客の動向が報告され、コロナ禍前に対しタイ、マレーシアはともに5割と他国より需要の戻りが遅く、スペインも日本を含む

アジア全般はやはり5割にとどまるとされた。

アウトバウンド促進の提言として風間氏は「スペインを訪れた日本人が68万人の好結果を記録した2019年は、大型連休が2回あった」として大型連休が長距離市場の需要に直結すると示唆。藤村氏は「タイではウェルネスなど新たな切り口を提示しているが認知が不十分。旅行会社は積極的に情報を更新し、消費者に訴求してほしい」と述べた。

清水氏は「マレーシアからのチャーター便が日本発の際、空席が目立つ。需要喚起につなげられれば」と発言。越智氏はこれを受けて「双方向交流を支える航空路線の維持のためにも、国策として海外旅行を促進してほしい」と述べた。



石塚 智之氏



宮崎 俊哉氏



越智 良典氏



風間 裕美氏



清水 貴美子氏



藤村 喜章氏

万博×観光シンポジウム

●主催：一般社団法人日本旅行業協会（JATA）

13:00 - 14:30

テーマ 万博を契機とした国際交流による持続可能な観光振興とは

万博と連動したツーリズムを展開し、地方誘客につなげる

2025年の大阪・関西万博を機に国内各地へのインバウンド誘客を進め、持続可能な観光振興につなげるための方策を探った。基調講演に登壇した東井氏は、万博と合わせて関西を周遊できるルートづくりや受け入れ態勢の整備が進んでいることを紹介。「万博をスプリングボードに広域観光の基盤をつくっていく」と意気込んだ。

事例発表では、下地氏が「沖縄の科学技術をテーマにした拠点を（万博の）サテライトバビリオンにするなど、地域の特性を活かしたい」と話した。山北氏は継続的な交流につなげるため、DX化やCXの向上、コンテンツの高付加価値化が必要だと説いた。堺井氏は、2024年4月に開設予定の公式観光ポー

タルサイトで「万博来場者が入場予約日の前後に国内各地の旅行商品を予約できる仕組みをつくる」と説明。若松氏は、中国や台湾を中心としたアジア、米国、イタリア、ドイツ、中東地域などをターゲットに「万博のテーマとサステナブル・ツーリズムを交流拡大の観点から発信し、地方誘客を促進したい」と力を込めた。

しかし、万博に向けた誘客の取り組みが進んでいない地域もある。モデレーターを務めた百木田氏は「万博は大阪、関西だけではなく、日本としてのイベント。全国的に経済の裨益ができるような仕組みをつくるのが大事」などとまとめた。



東井 芳隆氏



百木田 康二氏



下地 芳郎氏



山北 栄二郎氏



堺井 啓公氏



若松 務氏

アドベンチャーツーリズムシンポジウム

●主催：一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会（JATO）／株式会社JTB

15:30 - 17:00

テーマ これからの日本におけるアドベンチャーツーリズム

著名観光スポットへの偏重を打破し真の地域の発展へ

第1部で講演した高田氏は、9月に北海道で開催されたアドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）が、大倉山ジャンプ競技場での開会式やポストサミットツアーの実施など、高い評価を受けた点を紹介。「日本はATの有望なデスティネーションだと認知されたが、真に認められるために正しく広めていきたい」と力説した。

続くパネルディスカッションでは、山本氏が熊野古道など著名観光スポットへの需要偏重傾向を指摘。周辺の魅力にも注目すべきだと訴えた。続く山下氏の「AT旅行者のニーズに応えるためには」との問いに対し、川口氏は「地域がウェルカムな状態を作ること。テクニカルな部分だけではATの本質は達成できない」と持論を展開。山本氏は、地域独自の風習が外国人に訴求しやすいとして、「毎日繰

り返されている地域の伝統は大切にすべき」と語った。西木氏は、自身が企画・ガイドしたツアーの最終日に感動の涙を流した参加者のエピソードに触れ、「これができるガイドの育成は急務だが、時間をかけて育てる以外に方法はない」と話した。

また、具体的な誘客手法については、川口氏は「分析に基づくマーケティングも大事だが、旅行者の期待を上回るコンテンツにすることが重要」と話し、山本氏は「素材はたくさんある。吉野＝桜のイメージを打破する広報活動が必要」と一極集中からの脱却を強調。西木氏は「大々的に打ち出しても対応できなければ本末転倒。信頼できる相手と地道にビジネスを始める」と、足元を固めることの重要性を指摘した。



高田 健右氏



山下 真輝氏



川口 浩司氏



山本 義史氏



西木 真央 氏

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー

サステナブルな旅 AWARD 表彰式

初の大賞は阿蘇温泉観光旅館協同組合が受賞

国土交通省 観光庁は今年、持続可能な観光にかかる旅行商品のアワードとして、「サステナブルな旅 AWARD」を創設し、TEJ 会場で表彰式を行った。石塚氏がアワード創設の意義について、「優良な旅行商品・取組を広く横展開することで、旅行業界における持続可能な観光への取組を促進することを目的としており、本アワードを契機として、旅行者と地域の多様な関係者との連携を強化し、旅行者が観光地の持続可能性を支えるための取組を牽引していくことを期待する。」と説明。大賞を受賞したのは、阿蘇温泉観光旅館協同組合による、阿蘇カルデラの草原を特別な許可を得て E-MTB でサイクリングを行い、旅行代金から保全料を徴収し牧野の保全に繋げる取組で、同組合の永田副理事長は、「観光をフックに草原の再生に寄与することができた」と喜びを語った。選考委員長を務めた小林氏は「地域密着型の旅行者からの応募が多く、地域住民の巻き込み、様々なステークホルダーの利益を客観視したプランニング、インバウンド対策が重視されており、日本の観光にサステナブルが根付き始めていることを実感した。」と評価した。

また、宮田氏は司会に、旅の経験豊富な文筆家・塩谷氏とフードエッセイスト・平野氏によるトークセッションも会場を沸かせた。

【挨拶】

国土交通省 観光庁 審議官 石塚智之氏

【表彰式】

大賞：阿蘇温泉観光旅館協同組合／選考委員長：北海道大学観光学高等研究センター 客員教授 小林英俊氏

【トークセッション】

司会：『地球の歩き方』編集長 宮田崇氏
登壇者：文筆家 塩谷舞氏、フードエッセイスト 平野紗季子氏

●主催：国土交通省 観光庁



国際クルーズ再開と今後の展望-ゼロからの復活、そして飛躍-
国際クルーズ復活に向け、活発な議論を展開

2023 年 3 月から再開した国際クルーズの復活を受けて、安心して楽しめる環境づくりや商品造成が進んでいる。船会社、ランドオペレーター、旅行会社、港湾それぞれの立場からこれまでの振り返り、未来に向けた展望が語られたセミナー。各パネリストからは海外市場のクルーズがいち早く再開する一方、日本ではツアーを造成してはキャンセルの繰り返し。感染対策を含めた正しい情報の発信、またロビー活動に尽力したといったコロナ禍での 3 年間の苦悩とチャレンジが語られたほか、本格復活に向けて懸念されている日本の寄港地でのバス確保に関した船内プロダクトと融合させた工夫なども議論された。

また、クルーズにおいてもインバウンドの活況が予測されるものの、アウトバウンドの回復遅延が問題となっている。高付加価値旅行者のラグジュアリーから家族で楽しめるカジュアルまで、日本人にもクルーズの楽しさを幅広く伝える必要性があらためて指摘されるとともに、全国各地の港の連携、船上でのワーケーションをはじめとした新たな旅の提案なども行われた。今後の日本のクルーズマーケットをどう引き上げていくか。本格回復に向けて実りある議論がなされた。

【モデレーター】

みなと総合研究財団 沖田一弘氏

【パネリスト】

日本国際クルーズ協議会 副会長 糸川雄介氏／東武トップツアーズ 営業担当部長 濱野一哉氏／JTB ロイヤルロード企画販売担当課長 中島秀二氏／神戸市港湾局 振興課担当課長 瀬沢孝至氏

●主催：みなと総合研究財団／ツーリズム EXPO ジャパン推進室





第7回「ジャパン・ツーリズム・アワード」



10月26日(木) 10:10~11:00
 インテックス大阪
 インテックスプラザ Aステージ
 主催：公益社団法人日本観光振興協会
 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)
 日本政府観光局 (JNTO)
 協賛：株式会社ジェーシービー、インド政府観光省



沿線まるごと株式会社
 ※学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード同時受賞
 「日本の観光に少しでも寄与できるよう、小さい会社ながら過疎地域で沿線の駅ごとのストーリーづくりを推進した。これからも地域の皆さんと一緒に新たなツーリズム創出にまい進していきたい」とコメント

最優秀の国土交通大臣賞は過疎高齢地域での「沿線まるごとホテル」プロジェクト 学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワードも同時受賞

新型コロナの影響で3年ぶり、7回目の開催となった今年、「ジャパン・ツーリズム・アワード」は国土交通省 観光庁が毎年実施する「観光庁長官表彰」と統合。官民が連携することにより、より広い視点から優れた取り組みが選ばれることとなった。

最優秀賞にあたる国土交通大臣賞は、沿線まるごと社による過疎高齢地域を面であらえた課題解決策「沿線まるごとホテル」プロジェクトが、学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワードとともに同時受賞した。東京・奥多摩秘境エリアの無人駅をホテルのフロントに、空き

家を客室に、住民がホテルキャストと、地域の課題を価値に変換した取り組みである。

また、応募件数は140件(国内・訪日119件、海外21件)に上り、審査委員長を務めたUNWTO駐日事務所代表の本保芳明氏は「時代の変化を見え、持続可能な観光につなげようとする努力が目立った」となど評価した。ユニバーサルツーリズムやエコツーリズムなどSDGs推進に寄与する社会性の高い取り組み、観光DX関連、ガストロノミーツーリズムといった新しい旅のカタチを象徴する内容も多かった。



国土交通大臣賞

- 沿線まるごと株式会社 (国内・訪日領域)
 過疎高齢地域での「沿線まるごとホテル」プロジェクト
 ※学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード同時受賞



観光庁長官賞

- 株式会社かまいしDMC (国内・訪日領域)
 震災復興とゼロからの持続可能な観光地域づくりの実践～まち全体を屋根のない博物館に～
- 株式会社コラレアルチザンジャパン (国内・訪日領域)
 「観光客と職人の新たな付き合い方」による伝統工芸の再興
- 株式会社トラベリエンス (海外領域)
 世界中の旅行者と世界中のツアーガイドをマッチングする観光ツアーマーケットプレイス「GoWithGuide.com」



実行委員長賞

- インド・タミル・ナドゥ州政府観光省 (海外領域)
 マナール湾エコツーリズム



持続可能な観光賞(UNWTO)

- 一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 (国内・訪日領域)
 来訪者と地域住民が共に守り育てる持続可能な観光
- ベルトラ株式会社 (国内・訪日領域)
 『世界一サンゴと人にやさしい村で学ぶSDGs』大人の修学旅行 in 恩納村



学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード

- 沿線まるごと株式会社 (国内・訪日領域)
 過疎高齢地域での「沿線まるごとホテル」プロジェクト
 ※国土交通大臣賞同時受賞



審査委員特別賞 10団体

株式会社北海道宝島旅行社 (国内・訪日領域) 北海道内各地域の持続性に寄与する、富裕層インバウンド観光客向け高付加価値オーダーメイドツアーサービス／松久信幸 (国内・訪日領域) 全5大陸60店舗以上のNOBU・Matsuhisa ホテル・レストランを通じた日本文化の海外発信／MOMIJI株式会社 (国内・訪日領域) ジビエを通して命を学ぶ、「大植ジビエツーリズム」～官民協働で取組む大植ジビエソーシャルプロジェクトより～／株式会社ナビタイムジャパン (国内・訪日領域) 広域周遊観光促進を支援するソリューション『NAVITIME Travel Platform』／byFood.com (国内・訪日領域) ガストロノミーツーリズムを通じて日本の伝統継承を／日本酒蔵ツーリズム推進協議会 (国内・訪日領域) 酒蔵ツーリズム®の取り組み／一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー (国内・訪日領域) 「Responsible, Respectful, Realizable」新たな価値創造で聖地熊野を持続可能な観光地へ／ANA NEO 株式会社 (海外領域) バーチャルトラベルプラットフォーム「ANA GranWhale」／スペイン政府観光局 (海外領域) ユニバーサルツーリズム／株式会社JTB 仕入商品事業部 団体部 (海外領域) マラマ・ハワイ



株式会社かまいしDMC



株式会社コラレアルチザンジャパン



株式会社トラベリエンス



インド・タミル・ナドゥ州政府観光省



一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会



ベルトラ株式会社



入賞

国内・訪日領域18団体 海外領域2団体

合同会社ココ企画 ふるさと納税を活用した体験型カタログギフト商品の開発と運営／しろろ農園株式会社 アロエとヤギの持続可能なエコツーリズム／株式会社JTB熊本支店 世界のサステナブル観光地100選に選出!～小国郷最大の観光資源「鍋ヶ滝」における持続可能性への評価獲得～／有限会社エクストレモ あるがままの自然を活用したアウトドアスポーツ「アドベンチャーレース」を全国で展開／チームラボプラネッツTOKYO DMM コロナ収束後のインバウンド集客復活施策・期待感の醸成とデータドリブンプロモーション／鹿沼商工会議所 かめまシウマイでまちおこし／道の駅阿蘇 (NPO法人ASO田園空間博物館) 阿蘇の牧野をアクティビティフィールドとして活用した牧野ガイド事業と広域連携サイクルツーリズム／こまつものづくり未来塾

「産業観光都市 小松」の魅力発信へ～GEMBAモノツクリエキスポ・サロンで産業活性化!～／一般社団法人志賀町観光協会 「海洋ゴミ拾いを観光資源に～自然を守り、地域の方とつくる美しいキャンプ場」／広島フィルム・コミッション フィルム・コミッションが拓く! スクリーンツーリズム～『ドライブ・マイ・カー』の事例とともに～／一般社団法人東北観光推進機構 東北広域での観光DXの推進について／株式会社JTBコミュニケーションデザイン 【～人々の交流シーンにおけるカーボンニュートラルを目指して～「CO2ゼロMICE」®「CO2ゼロSTAY」®】／株式会社パナソニックグループ Well-being Island淡路島～いのち輝く未来社会に向けて～／株式会社三井不動産ホテルマネジメント 「パラアート(障がい者の芸術文化活動)」を全国のホテルロビーで展示・紹介し、「多様性を重んじる日本の姿」を世界へ発信／讃岐リミックス実行委員会 SANUKI ReMIX／株式会社JTB ビジネスソリューション事業本部 第四事業部



沿線まるごと株式会社 ※国土交通大臣賞同時受賞

JTBアグリワーケーション®／株式会社日本旅行教育事業部 サステナブル・ブランド国際会議 学生招待プログラム SB Student Ambassador／一般社団法人エコロジック「エコツーリズムを通じて、世界の多様な自然環境、地域文化と人々の尊厳を守る」地元富士宮および世界での取り組み／Leofoo Tourism Group Leofoo Senior Travel Service／株式会社JTB 仕入商品事業部 海外商品企画部 ハワイタピナカアプリ開発による提供サービスの革新

【ジャパン・ツーリズム・アワード 審査委員】(50音順・敬称略)



本保芳明氏

【審査委員長】
 本保芳明 国連世界観光機関(UNWTO) 駐日事務所代表
 【審査委員】
 David Atkinson 小西美術工芸社 社長
 石塚 智之 国土交通省 観光庁 審議官
 石原 義郎 株式会社航空新聞社編集統括
 太下 義之 同志社大学教授
 最明 仁 公益社団法人日本観光振興協会理事長
 関口 和一 株式会社MM総研代表取締役所長
 高橋 広治 日本政府観光局 (JNTO) 理事長代理
 高橋 広行 一般社団法人日本旅行業協会会長
 宮川 暁世 株式会社日本政策投資銀行地域調査部長
 森下 晶美 東洋大学国際観光学部国際観光学教授
 涌井 雅之 東京都市大学特別教授

【学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード 学生審査員】(大学名50音順・敬称略)

追手門学院大学 地域創造学部
 桜美林大学 ビジネスマネジメント学群
 大阪観光大学 観光学部
 神戸大学 国際人間科学部
 國學院大学 観光まちづくり学部
 埼玉女子短期大学 国際コミュニケーション学科
 淑徳大学 経営学部
 東京都立大学 都市環境科学研究科
 東洋大学 国際観光学部
 日本大学 国際関係学部
 一橋大学 商学部
 立教大学 観光学部
 流通科学大学 人間社会学部
 流通経済大学 社会学部
 和歌山大学 観光学部
 早稲田大学 商学部
 高井 仁喜
 飯村 采夏
 塚崎 夏生
 岸田 奈侑
 藤沼 日和
 稲見 彩香
 小島 万青
 菅井 純也
 高橋 美海
 村尾 莉多
 那須 遥
 宮崎 結
 塩見 嘉子
 上村 野乃香
 佐野 穂奈美
 西江 悠

Welcome Reception

10月26日(木) 18:00~19:30
インテックス大阪 インテックスプラザ、スカイプラザ

【登壇者】

ご来賓: 国土交通省 国土交通大臣政務官 加藤竜祥氏／前内閣総理大臣・衆議院議員 菅義偉氏／全国旅行業協会会長・観光立国調査会最高顧問・衆議院議員 二階俊博氏／観光立国調査会会長・衆議院議員 林幹雄氏／衆議院議員 自由民主党観光立国調査会事務局長 宮内秀樹氏／国土交通省 観光庁長官 高橋一郎氏／大阪府 知事 吉村洋文氏／兵庫県 知事 齋藤元彦氏／大阪市 副市長 山本剛史氏／公益財団法人 大阪観光局 会長 福島伸一氏／国連世界観光機関 (UNWTO) アジア太平洋地域部ディレクター ハリー・ファン氏／世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) シニア・ヴァイス・プレジデント マリベル・ロドリゲス氏／太平洋アジア観光協会 (PATA) 副会長 ベンジャミン・リャオ氏／アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション (ATTA) 最高経営責任者 シャノン・ストーウェル氏／ヨーロッパ観光委員会 (ETC) エグゼクティブ・ダイレクター エドワード・サンタンダー氏／ボツワナ共和国大使館 特命全権大使 ホツィレエネ・モラケ閣下／ブルネイ・ダルサラーム国 第一次資源・観光省 事務次官 トウティアティ・アブドゥル・ワハブ氏／インド政府観光省 ディレクター ローシャン・エム・トーマス氏／イタリア政府観光局 CEO イヴァナ・イェリニッチ氏／マレーシア 観光芸術文化 副事務次官 ダト・モハマド・ザムリ・ビン・マツ・ザイン氏／ウズベキスタン共和国大使館 特命全権大使 ムクシシグジャ・アブドゥラフモノフ閣下／株式会社ジェーシービー 代表取締役会長 浜川一郎氏／関西エアポート株式会社 代表取締役CEO 山谷佳之氏／西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 長谷川一明氏／阪急阪神ホールディングス株式会社 グループ開発室 事業開発部 部長 宗利拓也氏／近鉄グループホールディングス株式会社 執行役員 小林純氏／ハワイ州観光局 日本支局 局次長 寺本竜太氏／日本航空株式会社 常務執行役員 越智健一郎氏／全日本空輸株式会社 CX 推進室長、上席執行役員 石井智二氏／株式会社BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS 代表取締役社長 吉川健一氏／公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 事務総長 石毛博行氏

主催者: 公益社団法人日本観光振興協会 会長 山西健一郎／一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 会長 高橋広行／日本政府観光局 (JNTO) 理事長 蒲生篤実



日本政府観光局 (JNTO)
理事長 蒲生篤実

今回の開催テーマは「未来に出会える旅の祭典」。観光が地域の持続可能な発展に貢献することを目指し、旅の未来像を発信している。2025年の大阪・関西万博につながることも、アジアのゲートウェイであるここ大阪から、新しい日本の魅力を発信するイベントにしたい。会場であくさんの魅力を見つけていただきたい。

回復を強調すれば、前総理大臣の菅氏は「外国人旅行者の消費額はコロナ禍前を上回る見通し」と経済への好影響に言及した。衆議院議員の二階氏は「観光産業を代表する皆さんを心から歓迎する」と歓迎の意を表し、同じく衆議院議員の林氏は「コロナ禍でも皆さん

大阪・関西での再会の喜びと旅の未来へ飛躍を誓う

インテックスプラザ、スカイプラザで行われたWelcome Receptionでは、4年ぶりの大阪開催ということもあり、久しぶりの再開の喜びを分かち合う参加者たちの姿が目立った。

冒頭では主催者を代表し、蒲生JNTO理事長が「困難を乗り越え、また大阪に集まれて嬉しく思う」と挨拶した。来賓からは5名が登壇。加藤政務官が「インバウンドは水際対策の緩和などでようやく回復してきている」と

が頑張ってくれたから今がある」と謝意を述べた。2025年大阪・関西万博の公式キャラクター“ミャクミャク”と登場した吉村大阪府知事は「日本には歴史や文化に裏打ちされた魅力があり、大阪にもその魅力があると確信している」と力を込めた。

続いて主催者や来賓、スポンサー、観光大臣会合に参加した各国の観光トップらが登壇。インド政府観光省のトーマス氏が「TEJが素晴らしいイベントとして開催できたことをお喜び申し上げる」と乾杯の挨拶を行った。その後、齋藤兵庫県知事が兵庫県の魅力を紹介しつつ「大阪・関西万博では兵庫県全体をパビリオンに見立てた『ひょうごフィールドパビリオン』を展開する。皆さんが訪れてくれることを期待している」とアピールした。

会場では参加者に関西グルメやスイーツ、ビール、地酒などが振る舞われたほか、インド舞踊や神戸のジャズセッション、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのパフォーマンスが披露され、大きな盛り上がりを見せた。



西尾レントオール



千房



瀬田郷酒造組合



たこ家 道頓堀くくる



サントリーホールディングス



伊藤園



国土交通省 国土交通大臣政務官
加藤竜祥氏



前内閣総理大臣・衆議院議員
菅義偉氏



全国旅行業協会会長
観光立国調査会最高顧問 衆議院議員
二階俊博氏



観光立国調査会会長 衆議院議員
林幹雄氏



大阪府 知事
吉村洋文氏

新型コロナが世界的にまん延して以降、訪日旅行者数は激減していたが、昨年10月に実施した水際対策緩和等の影響もあり、ようやく回復している。TEJはインバウンド、アフトラウンド、国内旅行の関係者が世界中から集う、世界最大級の旅の祭典だ。世界各国・地域からお越しの皆様には、この機会に我が国の自然や文化、食などを実際に体験し、我が国の良さを感じていただきたい。

私が総理の時、「コロナ禍であっても我が国の自然、文化、食については決して失われるものではない」との信念を持ち、観光地のリニューアルや観光資源の磨き上げに取り組みできた。今こそ磨き上げた観光資源を、地方創生の切り札でもある。TEJが我が国の観光の起爆剤になるだけでなく、国際的な相互交流の強化につながることを祈っている。

皆さんを心から歓迎上げたい。観光は平和産業だ。平和な地にしか存在しない事業である。私たちが観光産業を推進することは、平和を推進することにつながる。2025年、万博が大阪において開催される。私も議員連盟の会長として開催に向けあらゆる努力を尽くしてまいります。お越しの皆様方お一人おひとりが、観光大使となっていたら、日本の良さ、素晴らしさを母国へと宣伝していただきたい。

新型コロナの感染拡大は、観光産業にとって未曾有の危機となった。暗い闇からの出口が見えず、いつ光が差し込むのか誰にもわからなかった。私の地元の成田空港も、誰もいない日が続いた。そのような状況でも、日本のみならず世界各国の観光業界の皆様が歯を食いしばり耐えていただいた結果、観光産業の今がある。このことに敬意を表するとともに、今回ここでお会いできたことを嬉しく思う。

観光には大きな力がある。この観光を大阪でもさらに伸ばしていきたい。その意味で今回のTEJが、4年ぶりに大阪で開催されることをお祝いしたい。私自身も地元の当回事として本当に嬉しく思う。「未来に出会える旅の祭典」がテーマであり、国内外から集まった皆さんが出席し、多くの来場者が訪れる。ここで旅することの素晴らしさを体験してもらいたい。我々も、2025年の大阪・関西万博でさらなる未来に会えるよう取り組んでいきたい。



インド政府観光省 ディレクターのローシャン・エム・トーマス氏が音頭を取り、参加者全員で乾杯



左から兵庫県 知事 齋藤元彦氏、
大阪府 知事 吉村洋文氏、ミャクミャク



兵庫県 知事 齋藤元彦氏

姫路城、城崎温泉、神戸ビーフなど、一言で語り尽くせない“多様性”が兵庫の魅力だ。SDGsを達成する知恵は、先人から受け継がれてきた地域の現場そのものにある。TEJにも出展している灘五郷では、カーボネロを実現した酒造りを推進している。このほかにも兵庫には食や地場産業、文化、レジャーなどの魅力がある。大阪・関西万博ではフィールドパビリオンを訪れてくれることを期待している。



広報アンバサダーの NMB48
(左から小嶋花梨さん、出口結菜さん、塩月希依音さん)



アパンドダンスによる「インド ポリウッドダンス」



Miki Hirose Jazz Orchestra による
「神戸ジャズ『On-Off, いい日旅立ち, Heal the World』」



ユニバーサル・スタジオ・ジャパンによる「TEJ 特別公演」

商 談 会

10月26日(木)・10月27日(金) 10:00~18:00
インテックス大阪 展示場2号館~6号館ABゾーン各出展ブース

コロナ禍からの本格的な回復を目指しB to Bの動きが活発化 マッチングシステムで効率の良い商談・情報収集を実現

日本の旅行会社をはじめ、国内外のバイヤーと国内外セラーが商談を交わし、海外旅行、国内旅行、インバウンドなどの商品造成や情報交換を促進することを目的とした商談会を、10月26日(木)・27日(金)に実施した。今回もセラーとバイヤーが展示ホールの出展ブース内で商談を行う例年と同様のスタイルで実施。

出展者は商談しやすいように展示ブース内にテーブルを多く並べたり、デスクティーンションの特色を活かした商談スペースを設置したりと、それぞれ工夫を凝らしバイヤーを迎えた。新型コロナウイルス感染症5類移行後の最初のTEJということや、4年ぶりの大阪・関西での開催ということもあり、商談件数は5,768件に上り、BtoBの動きが活発化していることが顕著になった。

国内ブースでは、まだあまり知られていない観光スポットや新

しい観光素材についての紹介を行う様子が多く見られたほか、なかにはさらに一歩進んで各素材をどのように旅行商品に組み込めるかという具体的な説明をする姿もあった。海外ブースでは、TEJのために来日した現地サプライヤーの担当者などが、日本の旅行会社の担当者と直接会って情報交換を行うなど、セラーもバイヤーも新型コロナウイルス感染症5類移行後のさらなる需要増を目指し、新たなビジネスにつなげようとする意欲的な様子が目立った。

アポイントメントはTEJの事前マッチングシステムによって設定され、効率良く商談を行える環境を提供。両日とも商談会に関する質問を受け付けるスタッフも会場を巡回するなど、商談のサポートにも力を入れた。



商談会規模

セラー：1,037名

ツーリズムEXPOジャパン2023 大阪・関西出展者／トラベルソリューション展2023出展者

バイヤー：529名

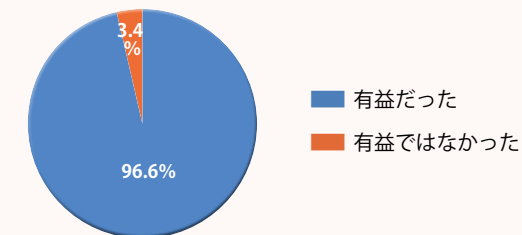
旅行会社

商談セッション数：5,768件

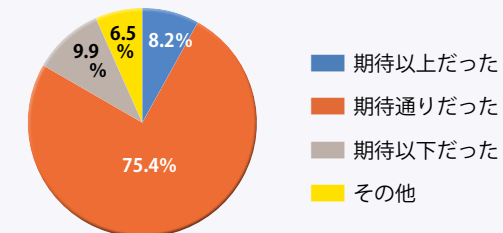
商談会参加者アンケート

セラーアンケート結果

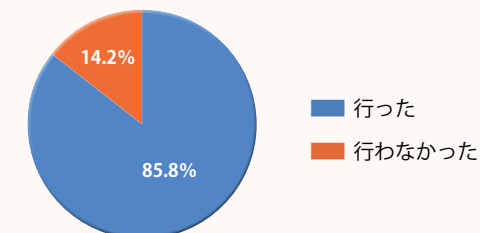
1. 商談会は有益でしたか



2. 期待していた内容の商談ができましたか



3. 事前マッチング以外の商談を行いましたか



セラーコメント

●ポジティブ

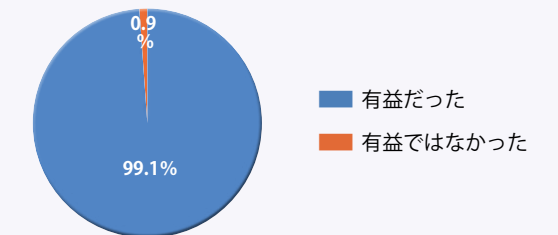
- ・商談会運営管理が行き届いており、事前マッチングのバイヤーの欠席がなく驚いた。
- ・初めての参加だったが、案件獲得につながりそうな商談ができ参加して良かった。
- ・普段営業活動を行っていない自治体において、商談会やマッチングシステムは効率的な商談ができ非常にありがたい仕組みだった。
- ・拠点以外での情報発信について、相互補強する相談ができた。
- ・旅行会社各社の傾向や動向、それぞれの販売手法を知ることができ、今後の展開に役立つ情報を得られた。
- ・旅行会社の方々も新しいネタを探しており、農泊等の体験型観光やアドベンチャーツーリズムの関心の高まりが感じられ、地元での展開のきっかけとなった。

●課題

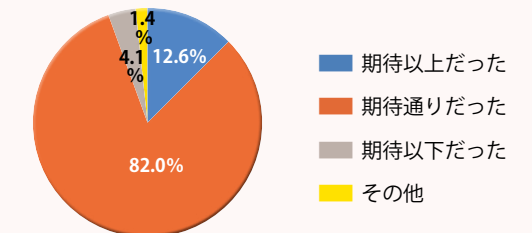
- ・事前に商談相手が知りたい資料を添付等で配布できれば、より商談がスムーズになると感じた。
- ・アポイント時間を短くして、商談件数を増やせるようにしてほしい。
- ・システム上で、ユーザーがアポイント時間を商談希望相手にリクエストできる機能がほしい。
- ・子出展者のほとんどがアポイントシステムを理解しておらず、フル活用することができなかった。
- ・こだわりのあるバイヤー、ニッチなマーケットを狙っているバイヤーなどにもっと参加してもらえると良い。
- ・会場が広くバイヤーは移動に苦労されていた。会場案内にもう少し工夫があっても良かったと思う。

バイヤーアンケート結果

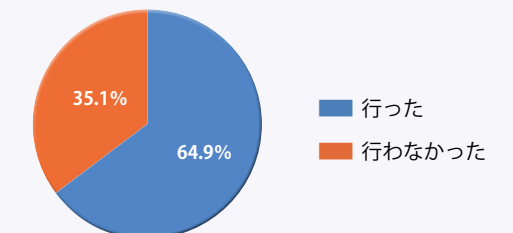
1. 商談会は有益でしたか



2. 期待していた内容の商談ができましたか



3. 事前マッチング以外の商談を行いましたか



バイヤーコメント

●ポジティブ

- ・商品および現地最新情報に関する情報入手ができ、観光地の新素材の開拓で新たな契約につながりそうな商談も行うことができた。
- ・リアルだからこそ入手できる現状の観光需要、また今後の受け入れ体制に関する情報も聞き出せた。
- ・一般には知られていない持続可能な観光運営に取り組まれている組織が多く、驚くとともに送客の参考になった。
- ・イベントを開催するにあたり、この地域であればこのイベントが良いという地元の方ならではの意見を聞いた。
- ・商談先様の思い込みでできないと思っていることに対して、いろいろと提案した結果、お互いに面白いアイデアが生まれ今後の展開につながった。
- ・行程の固定観念を違ったルートを利用することで渋滞回避等、目新しい観光施設への立ち寄り提案も可能であることを認識できた。

●課題

- ・もう少し来日するセラーが増え、さまざまな国との商談をしたかった。
- ・会場が広いので移動に時間がかかり、また目的のブースを探すのに苦労した。
- ・資料はなるべくデジタル化していただけるとありがたい。
- ・商談中、まわりの音が賑やかで話が聞きづらいことがあった。
- ・一覧でエントリーされているセラーの名簿があると便利。
- ・マッチングが成立した際、商談日時をこちらで決められると良い。

VISIT JAPANトラベル&MICEマート(VJTM) 2023 主催：日本政府観光局 (JNTO)

VJTM2023は海外バイヤー 258社と国内セラー 300社・団体が一堂に会し、商談会が盛況に開催され、商談件数が7,395件の実績となった。10月27日(金)にはTEJとの連携プログラムとして、ランチタイムを利用したTEJ場内ツアーを5コース実施。「Expo (大阪・関西万博、兵庫万博推進課)」「Sake Brewery (日本酒蔵ツーリズム、灘五郷)」「Sustainable (日本の国立公園、農泊)」「Adventure (日本アドベンチャーツーリズム、日本の国立公園)」「Japan Culture (文化庁/和菓子、鹿児島/知覧茶)」を設定、計109人の参加となった。

また10月28日(土)午後より、全国10コースに加え、MICE 1コースのファムトリップも実施された。



ツーリズムEXPOジャパン トラベルソリューション展2023

10月26日(木)・27日(金) 10:00~18:00 インテックス大阪 6号館B

●主催：ツーリズムEXPOジャパン、日本経済新聞社

ツーリズムの発展を支援するテクノロジーの見本市

ツーリズムEXPOジャパンと日本経済新聞社の共催によるBtoB見本市「トラベルソリューション展2023」が10月26日(木)・27日(金)の2日間にわたって開催された。

これはツーリズムEXPOジャパンのフェア in フェアとして行われたもので、ITプラットフォームや5G、Wi-Fi、IoT、位置情報、生体認証、仮想現実・拡張現実、人工知能、ロボット、自動運転といった、データやデジタル技術でビジネスを支援する企業や自動翻訳、インバウンド受け入れサポート企業などが出展した。

大手企業だけでなく、観光ビジネスを支援しようと独自の技術を駆使したサービスを提供するスタートアップ企業の出展も目立った。展示内容も、多言語サービスや翻訳ツール、ICTソ

リューション、VR(仮想現実)やAR(拡張現実)や、ツーリズムのDXを後押しするサービスなど多岐にわたった。また、ポストコロナで顕在化する人手不足を解消するためのソリューションサービスや、V字回復を見せるインバウンドの動きを可視化したりAIを駆使して旅行者の動きを予測したりするサービスの展示も多く、来場者の注目を集めた。

ブースでプレゼンテーションセミナーを行う出展者も多く、次世代ソリューションサービスの説明に聞き入る来場者の姿が印象的だった。また、TEJの展示商談会と同様に、同展でも出展者と観光産業従事者のマッチングシステムを提供。ブース内で商談したり情報交換したりする姿も目立った。

主な出展分野

DX 関連サービス (ITプラットフォーム、5G、Wi-Fi、IoT、位置情報、生体認証、仮想現実・拡張現実、人工知能・AI、ロボット技術、自動翻訳など)
インバウンド受け入れサポートサービス、地域創生など



ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー

10月26日(木)、27日(金)
5号館 セミナールーム・
インテックスプラザ A ステージ

未来を見据えた旅のスタイルや今後注目のデスティネーション情報を発信!

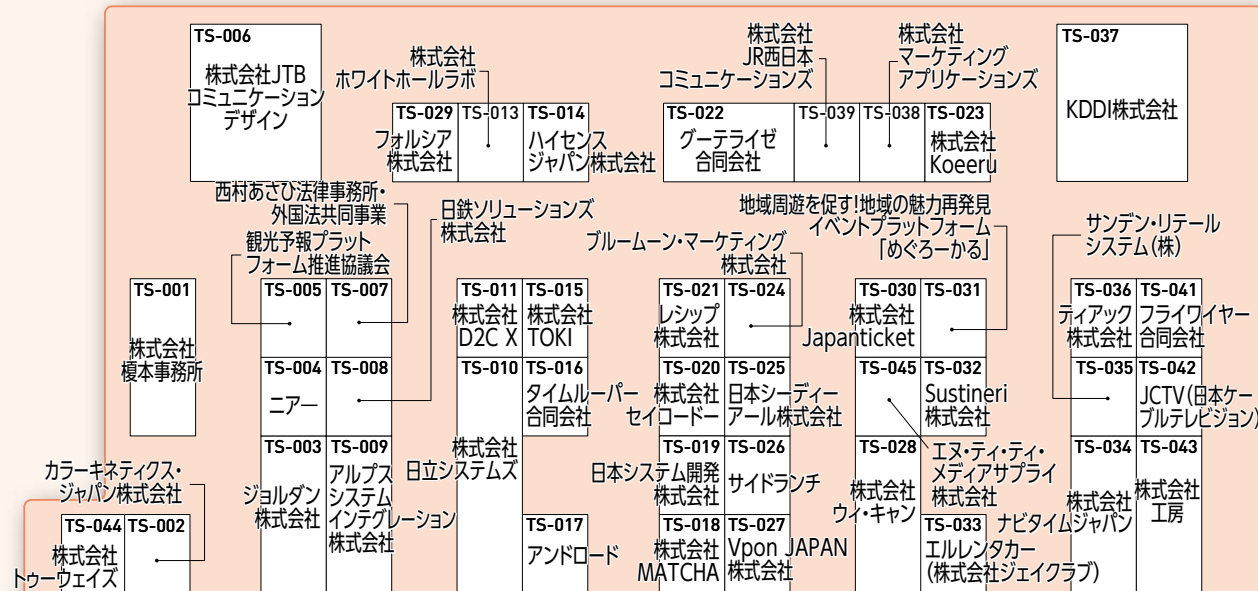
観光業界関係者向けプログラム「ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー」は、コロナ禍を経て回復が進む国内・訪日旅行や海外旅行の復活への期待を受け、注目のデスティネーション情報のアップデートをはじめ、エコツーリズムやサステナブルな旅など、未来を見据えたコンテンツを集めて展開された。

Aステージや各セミナールームには、多くの業界人が詰めかけ、新しいビジネスチャンスをつかむべく、熱心に聴講する姿が見受けられた。



■ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー タイムテーブル

日時	場所	講演タイトル	主催
10:30~12:00		旅行業DXセミナー 旅行業DXの実践	日鉄ソリューションズ株式会社
12:30~14:00		環境省主催セミナー 「今こそ、エコツーリズムを考える～地域がつくる持続可能な観光地～」	環境省
14:30~16:00	ルーム1	ステルスマーケティングに関する最新の規制内容を踏まえた新たな観光プロモーションの可能性 観光関係者必見! こうすれば安心。インフルエンサーを使ったプロモーション。	西村あさひ法律事務所
16:30~18:00		2019年解禁! 今最もホットな新デスティネーション、サウジアラビア ～砂漠の古代遺跡から鏡の未来都市まで～	サウジアラビア政府観光局
12:30~14:00		Destination Presentation: Bosnia and Herzegovina The Most Exciting Destination in the World	USAID Developing Sustainable Tourism in Bosnia and Herzegovina
14:30~16:00	ルーム2	観光DX最前線の担当者に聞く、地域DMPの重要性 ～観光予約プラットフォームとともに、その先の観光DXへ～ 「インバウンド最前線」スノーリゾートが切り開くインバウンド誘客と地域活性化	観光予約プラットフォーム推進協議会(事務局:公益社団法人日本観光振興協会)
16:30~18:00		「インバウンド最前線」スノーリゾートが切り開くインバウンド誘客と地域活性化	一般社団法人日本旅行業協会 訪日旅行推進部
12:30~14:00	ルーム3	ジャパン・ツーリズム・アワード2023 審査員特別賞受賞記念セミナー 日本酒蔵ツーリズム推進協議会の取り組み事例 (佐々木清道、球磨焼酎蔵ツーリズム協議会、沖縄県酒造組合、その他)	日本酒蔵ツーリズム推進協議会
10:30~12:00	ルーム4	空港は第2のデスティネーション	プラザ・プレミアム・ラウンジ
12:30~14:00		観光産業全体の業務効率化・生産性の向上に寄与する「観光産業共通プラットフォーム」	一般社団法人日本旅行業協会国内旅行推進部
10:30~12:00		サステナブルな旅AWARD	国土交通省 観光庁
14:30~16:00	Aステージ	国際クルーズ再開と今後の展望 一ゼロからの復活、そして飛躍ー	みなと総合研究財団/ツーリズムEXPOジャパン推進室
16:30~18:00		大阪・関西万博 民間パビリオン構想発表会 Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan, "Pavilions for Private Sectors Concept Presentation"	公益社団法人日本国際博覧会協会
10:30~12:00		日本観光振興デジタルプラットフォーム活用セミナー ～全国観光DMPによる観光地経営の高度化、データ戦略による持続的な地域の拡大へ～	公益社団法人日本観光振興協会
12:30~14:00	ルーム1	法務セミナー ①ホームエージェンシー型旅行業者代理業のすすめ ②広告表示適正 (ツアータイトル関係)の強力的解釈について ～入場観光の明確化・募集型企画旅行と手配旅行契約の組み合わせ～	一般社団法人日本旅行業協会 法務・コンプライアンス室
14:30~16:00		公益社団法人日本観光振興協会主催 「日本遺産体験周遊ツーリズム事業」取り組み事例 和歌山大学サステナビリティ研究室「Destination wellbeing - definition, measurement & assessment」	公益社団法人日本観光振興協会 和歌山大学観光学部
10:30~12:00		関西=ドーナツ圏 毎日通勤再開! カタール航空 アップデートセミナー～ 関西・成田・羽田 から世界160都市以上へのネットワーク ～	カタール航空
12:30~14:00	ルーム2	第一部: ベルギー各地の観光スポット 第二部: 北部アンデスの文化的景観への読み 「宇宙」を活用したツーリズムと地域活性化	在日ベルギー大使館商務部 (Commercial Office of Peru in Japan) 一般社団法人 宙ツーリズム推進協議会 株式会社日本旅行 sola旅クラブ
16:30~18:00		ホルトガル観光セミナー	欧州旅行委員会内 ホルトガル政府観光局
10:30~12:00		FW:東北 Fan Meeting スピンオフWS ～「面」で魅力度アップ! 繋ぐ、この先の東北のツーリズム～	復興庁
12:30~14:00	ルーム3	ステルスマーケティングに関する最新の規制内容を踏まえた新たな観光プロモーションの可能性 観光関係者必見! こうすれば安心。インフルエンサーを使ったプロモーション。	西村あさひ法律事務所
14:30~16:00		ジャパン・ツーリズム・アワード2023 審査員特別賞受賞記念セミナー 日本酒蔵ツーリズム推進協議会、大阪国税局からのGI(地理的表示)取り組み事例紹介、文化庁食文化参事官より日本酒と100年フードについて紹介	日本酒蔵ツーリズム推進協議会
16:30~18:00		航空・旅行アナリスト 鳥海 高太郎氏も登壇! 「観光産業DXの現状と課題～データを繋ぎ実現する次世代型MaaS～」	フォルシア株式会社
10:30~12:00		大阪・関西万博と開催後のレガシーが変えるインバウンド市場への対応	株式会社JTBコミュニケーションデザイン
12:30~14:00	ルーム4	地域の特色を活かし 復活したインバウンド市場へのアプローチを考える	株式会社JTBコミュニケーションデザイン
14:30~16:00		文の字路の人と自然に出会うシルクロードでつながる中央アジア5か国と日本～ウズベキスタン・ガザフスタン・キルギス・タジキスタン・トルクメニスタンの魅力紹介!	独立行政法人国際協力機構
16:30~18:00		マロのぐるぐるヨルダン巡り & THE JORDAN TRAIL	Jordan Tourism Board



展示会

10月26日(木)～28日(土) 10:00～18:00 10月29日(日) 10:00～17:00
インテックス大阪

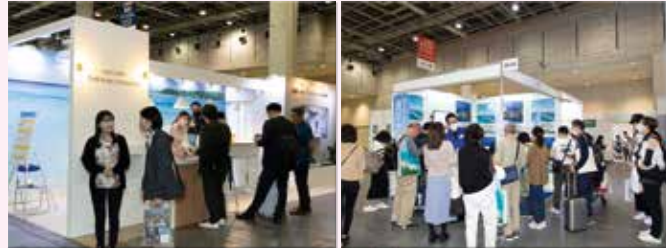
各ブースで、SDGsを意識した“未来に出会える旅”を体感！

4年ぶりの大阪開催となった2023年は、宇宙旅行や海外の新たな旅をひと足早く疑似体験するネクストデスティネーションの紹介のほか、ワーケーション、ドライブツーリズム、星空ツーリズム、アカデミー、観光SDGs、アドベンチャーツーリズム、クルーズ、スポーツツーリズム、旅の広場をフィーチャーした。

また、2025年大阪・関西万博が垣間見える大阪・関西未来ゾーンの設置など、イベントテーマである「未来に出会える旅の祭典」にふさわしい展示会となった。

特集エリア

ワーケーション



ドライブツーリズム



星空ツーリズム



火災で甚大な被害を受けたハワイのマウイ島復興支援パネル

特別コーナー

アカデミー



観光SDGs



アドベンチャーツーリズム



クルーズ



スポーツツーリズム



旅の広場



特別コーナーステージ



大阪・関西未来ゾーン

10月26日(木)～28日(土) 10:00～18:00 10月29日(日) 10:00～17:00
インテックス大阪 4号館

2025年大阪・関西万博と未来の関西エリアをプレ体験

「2025年大阪・関西万博」を中心とした、大阪・関西の未来をひと足先にプレ体験できる「大阪・関西未来ゾーン」が、10月26日(木)～29日(日)に設けられた。プレス・業界日および一般公開日を合わせて4日間にわたる出展を通じ、大阪・関西万博のプロモーションを行うとともに、関西エリアの未来を知ってもらい来訪のきっかけとすることを目的に、さまざまな展示が行われた。

展示内容も多岐にわたった。2025年大阪・関西万博のブースは、あらゆる場所に公式キャラクターのミャクミャクが描かれるというひとときわ目立つ仕様で来場者の注目を集め、万博のコンセプトや見どころなどを紹介。その他のブースでは、VRでのジップライン体験、NTTグループの万博に向けた取り

組みの展示、ワールドマスターズゲームズの紹介、大阪や京都だけでなく関西エリア全体という広域で連携して魅力を発信する展示があったほか、吉本興業のブースではオリジナルグッズを販売するなど、関西らしさを感じられる展示も見られた。来場者はそれぞれ関心のあるブースに足を止め、大阪・関西の未来の姿を想像しながら期待に満ちた表情を見せていた。

大阪・関西未来ゾーンの特設ステージでは、ツーリズムEXPOジャパン開催中に全10回の講演が行われた。内容も国際博覧会の魅力を伝えるものから、隣県である兵庫県の万博への取り組みなどが中心で、プレス・業界日、一般公開日ともに多くの人が講演に聴き入り、万博への期待と関心の高さをうかがわせた。

出展者一覧

- | | |
|-------|--|
| 4-051 | EXPO2025関西観光推進協議会
・関西ブロック広域観光振興事業推進協議会
・一般財団法人関西観光本部
・公益社団法人日本観光振興協会 関西支部 |
| 4-053 | MUIC Kansai |
| 4-054 | ワールドマスターズゲームズ2027関西 |
| 4-055 | 関西広域連合 |
| 4-056 | AMUSE株式会社
・株式会社 ケイエムアドベンチャー
・一般社団法人日本介護旅行サポーターズ協会 |
| 4-057 | 大阪府 |
| 4-059 | 兵庫県 万博推進課 |
| 4-060 | 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） |
| 4-061 | NTTグループ |
| 4-062 | 吉本興業株式会社 |



Pick up

2025年大阪・関西万博「民間パビリオン構想発表会」

大阪・関西未来ゾーン出展者がパビリオン構想をプレゼン

世界中から注目が集まる大阪・関西で開催されたTEJでは、2025年大阪・関西万博の「民間パビリオン構想発表会」も開催された。2025年日本国際博覧会協会の高見明伸企画局企画部担当部長が「万博による経済効果は大きく、工事も順調に進んでいる。民間パビリオンでは、各出展者が万博のテーマ『いのち輝く未来社会のデザイン』に沿って工夫を凝らし、個性を活かした展示を行うことにより、来場者に未来社会を体験してもらい感動と共感を与えることを目指している」などと紹介。

日本電信電話、電気事業連合会、住友

EXPO2025推進委員会、パナソニック ホールディングス、三菱大阪・関西万博総合委員会、吉本興業ホールディングス、パソナグループ、ゼリ・ジャパン、バンダイナムコホールディングス、玉山デジタルテック、日本ガス協会、飯田グループホールディングス、大阪外食産業協会の出展13企業・団体すべてが一堂に会し、リアルとバーチャルを駆使した社会課題への気づきの提供、海の蘇生、世界の子どもたちと一緒に示す笑いのチカラといったさまざまなパビリオンの具体的な構想をプレゼンテーションした。

また、万博キャラクターのミャクミャクも登場し、出展者、会場を和ませた。



ブースグランプリ

- グランプリ
- 準グランプリ
- 特別賞
- 実行委員長賞

ブースグランプリは、出展ブースの中から来場者の投票により、展示会を盛り上げたブースを選出する表彰プログラムです。審査のポイントは「オリジナリティ溢れるブースデザイン、魅力的な演出であったか」、「スタッフの接客やホスピタリティが充実していたか」、「心を動かされる（印象に残る）内容であったか」、「ブースを訪問前後でその国・地域・企業・団体の印象が大きく変わったか」、そして今回より加わった「SDGsへの取り組みが行われていたか」の5つ。

業界日の投票で選出される「旅のプロが選ぶ ブースグランプリ」と一般日の投票で選出される「旅の愛好家が選ぶ ブースグランプリ」の2部門で、グランプリ(2出展者)、準グランプリ(2出展者)、特別賞(2出展者)、4団体(うち2団体はダブル受賞)が選出されました。また、実行委員長賞として、今年のテーマである「未来に出会える旅の祭典」が表現されている2団体が選出されました。

～旅のプロが選ぶブースグランプリ～

業界日の投票にて決定! (投票者: 業界日来場者)

グランプリ
台湾観光協会



準グランプリ
韓国観光公社



グランプリ
韓国観光公社



準グランプリ
台湾観光協会



特別賞
嘉手納町



実行委員長賞
株式会社 JTB



特別賞
沖縄県うるま市



実行委員長賞
サウジアラビア政府観光局



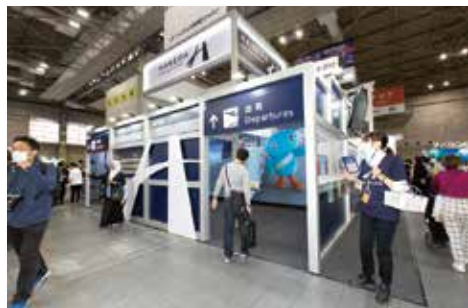
日本航空株式会社 ワンワールド



関西エアポート株式会社



全日本空輸株式会社



日本空港ビルディング株式会社
東京国際空港ターミナル株式会社

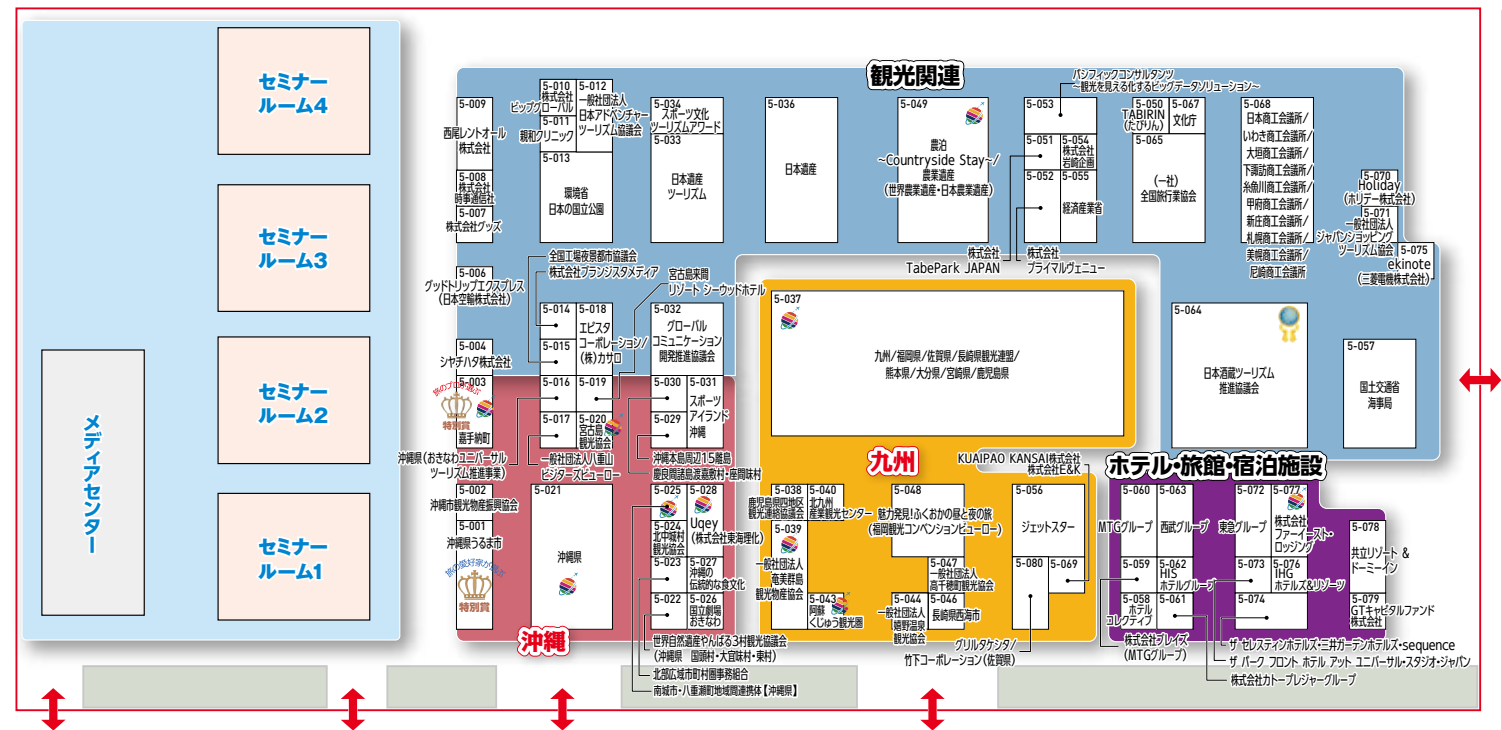


株式会社 BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS



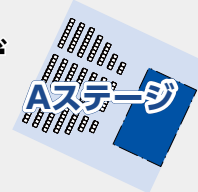
5号館: 九州 / 沖縄 / ホテル・旅館・宿泊施設 / 観光関連
2号館: アジア / 航空・運輸 / 旅行会社 / 旅行関連

5号館

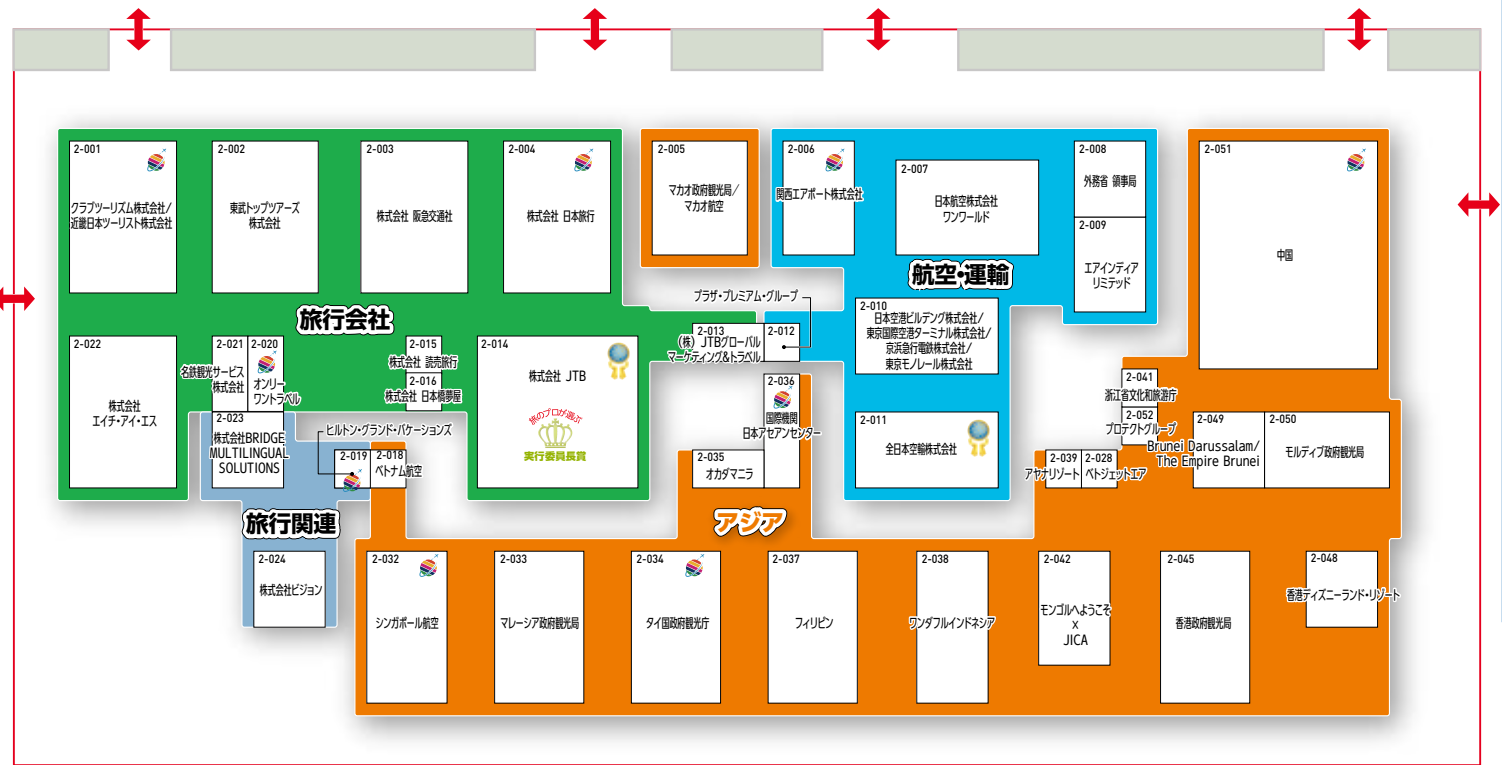


西ゲート

インテックスプラザ



スカイプラザ



4号館

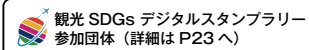
3号館

2号館

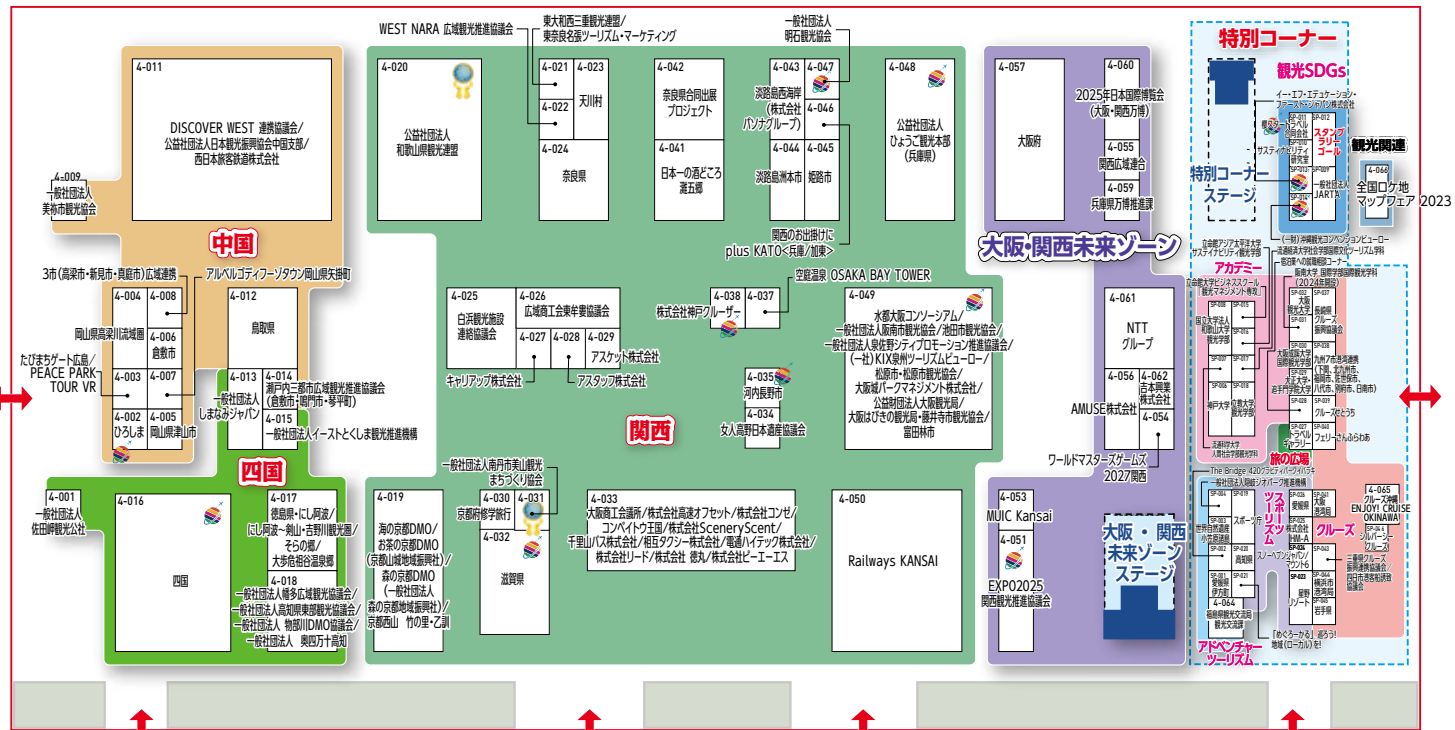
4号館： 関西 / 中国 / 四国 / 大阪・関西未来ゾーン / 観光関連 / 特別コーナー

3号館：アジア / ヨーロッパ / 大洋州

4号館



 **ジャパン・ツーリズム・アワード
受賞団体（詳細は P8 ～ 9 へ）**

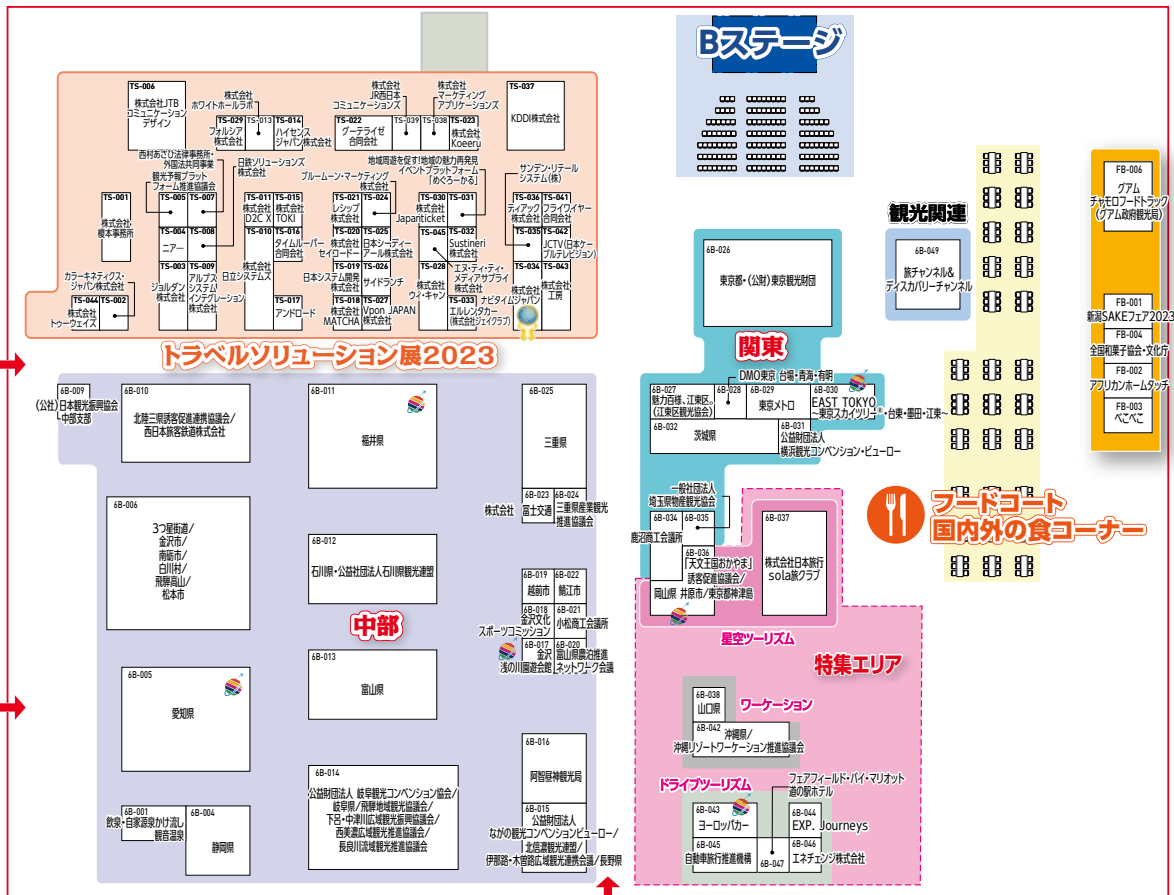


3号館

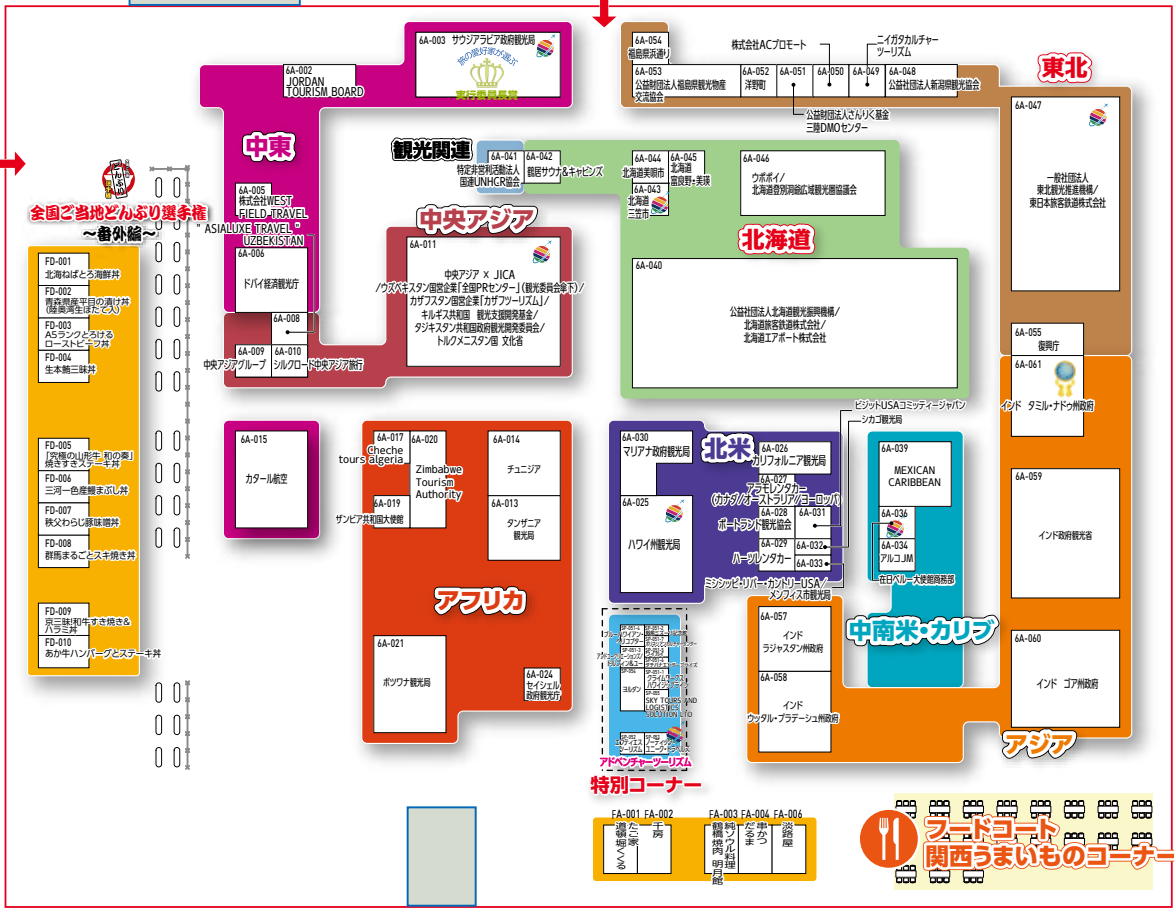
6号館B： 関東 / 中部 / 特集エリア / トラベルソリューション展2023 / 観光関連 / Bステージ / フードコート

6号館A： 中東 / アジア / 中央アジア / アフリカ / 北米 / 中南米・カリブ / 観光関連 / 特別コーナー /

6号館B



東ゲー



6号館A



北陸三県誘客促進連携協議会/
西日本旅客鉄道株式会社



ハワイ州観光局



インド政府観光省



内覧風景



国土交通大臣政務官
加藤竜祥氏



前内閣総理大臣
衆議院議員 菅義偉氏



全国旅行業協会会長 観光立国調査会
最高顧問 衆議院議員 二階俊博氏



観光立国調査会会長
衆議院議員 林幹雄氏



観光立国調査会事務局長
衆議院議員 宮内秀樹氏



衆議院議員
武井俊輔氏



参議院議員
鶴保庸介氏



参議院議員
阿達雅志氏



参議院議員
石川博崇氏



参議院議員
杉久武氏



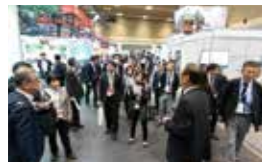
国土交通省 観光庁 長官
高橋一郎氏



海軍振興連盟



東京商工会議所
トラベル&ツーリズム委員会



愛知県観光関係者

表敬訪問



株式会社ジェーシービー 取締役 兼 常務執行役員
岡崎正明氏



インド政府観光省



在京アフリカ外交団 (ADC) TRINVEC



アゼルバイジャン・ツーリズム・エージェンシー



インドネシア共和国 観光クリエイティブエコノミー省



ギリシャ政府観光局



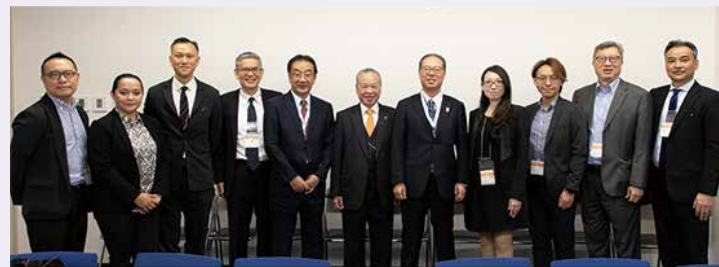
ボツワナ共和国 環境観光省



キルギス共和国 観光支援開発基金



台湾観光協会



香港政府観光局

ブース訪問



オーストラリア貿易・観光担当大臣
ドン・ファレル氏



ヨーロッパ観光委員会 (ETC)



観光 SDGs デジタルスタンプラリー

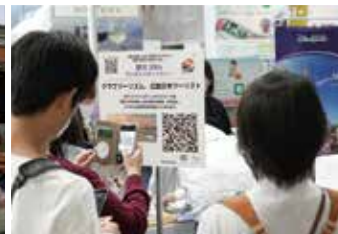
10月28日(土)・29日(日)
インテックス大阪 展示場2号館～6号館AB
協賛：株式会社ジェーシービー／
サウジアラビア政府観光局

展示会場を回遊しながらSDGsの気づきや学びの機会を提供

観光SDGsデジタルスタンプラリーが、一般日の10月28日(土)・29日(日)に開催された。持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、国連が設定したSDGs(17のゴール・169のターゲット)において、観光事業分野での「SDGsの取り組み」を可視化し、展示会場内を回遊しながら「気づき」や「学び」の機会をデジタルスタンプラリーで提供した。会場にあるスタート用QRコードから観光SDGsデジタルスタンプラリーのサイトにアクセスしエントリー。ブースのQR

コードを読み込みながら会場を巡り、計10個のスタンプを取得すると抽選券を得られるというもので、多くの参加者が企画参加団体のブースに足を運び、デジタルスタンプラリーを楽しみながらSDGsについての知識を深めていた。

また、このスタンプラリーのゴールポイントを活用し、若年層の海外旅行への関心を訴求して行動を促す学生限定の企画「若者の海外旅行応援抽選会」も実施。抽選会は来場した学生たちで大いに盛り上がった。



ふるさと応援フェスタ in ツーリズムEXPOジャパン

10月28日(土)・29日(日)
インテックス大阪 6号館B

北海道や福島の特産品や地酒を楽しんでふるさとを応援!

「ふるさと応援フェスタ in ツーリズムEXPOジャパン」が、一般日の10月28日(土)・29日(日)に開催された。テーマは北海道や福島県の応援。do!浜通り(福島県)、福島県郡山市観光協会、北海道産はたて消費拡大プロジェクトなどの団体が出展した。

期間中は、郡山銘菓を販売するテーブルに足を止めた来場者が、同観光協会のスタッフから郡山市の魅力に聞き入る姿が見られた。do!浜通りのブースでは、地酒の試飲サービスを実施、地元の銘酒を試そうと長い行列ができた。また、会場には北海道のほたてを中心とする海産物を提供するキッチンカーがずらりと並んだ。北海道産の新鮮な魚介類を使った料理を求めて長蛇の列ができ、昼食時には北海道産グルメに舌鼓を打つ親子連れの姿などが目立った。

ニュースなどで北海道の生産者や福島県の苦境を知り、これらの地域を支援しようと会場に足を運んだ来場者たちで2日間とも盛況となった。



出展者レセプション

出展者ブースでは、10月27日(金)に関係者を招いたレセプションが行われた。



サウジアラビア政府観光局



スリランカ ツーリズム
プロモーションビューロー



マレーシア政府観光局



台湾観光協会

ステージスケジュール

各国・地域の個性あふれるパフォーマンスとイベントで観客を魅了！

10月28日【土】	会場	A ステージ インテックスプラザ	B ステージ 6号館B
	時間		
10:30	10:30～11:00	出会う・見つける中央アジア～シルクロードへの旅～ 出演者／団体名：中央アジア5か国パフォーマー	登録無形文化財に登録された「菓銘をもつ生菓子（焼切・こない）」の実演 （先着100名様に生菓子2個入りをプレゼント） 出演者／団体名：解説 全国和菓子協会 専務理事 飯光生様 実演 株式会社丸市菓子舗 野間耕三様
	45		
11:00	11:20～11:50	ニハオチャイナショー 出演者／団体名：ニハオチャイナ公演団	人形浄瑠璃文楽・三業の解説とミニ公演【実演】二人三番唄～OSAKA BUNRAKUバージョン 出演者／団体名：文楽協会及び桂福龍（落語家）
	45		
12:00	12:10～12:40	江原2024 冬季ユースオリンピックPRステージ 出演者：韓国の元スピードスケートオリンピック金メダリスト 李 相花（イ・サンファ）氏 日本の元スピードスケートオリンピック銅メダリスト 岡崎 朋美氏 ライター 東山サリー氏	徳川家康と服部半蔵忍者隊 演武&家康様クイズ大会 出演者／団体名：徳川家康と服部半蔵忍者隊
	45		
13:00	13:00～13:30	ワンダフルインドネシア・パラワン&パトゥアン エスニックフュージョン 出演者／団体名：ワンダフルインドネシア・パラワン&パトゥアン エスニックフュージョン	サウジアラビア 伝統舞踊アルダ 出演者／団体名：サウジアラビア政府観光局
	45		
14:00	13:50～14:20	マレーシア民族舞踊ショー 出演者／団体名：マレーシア民族舞踊団	にいがたのスターが大集合！ 美味しい！ 訪letたい!! 魅力を紹介するトークショー & じゃんけん大会 出演者／団体名：公益社団法人 新潟県観光協会 & 新潟SAKEフェア2023
	45		
15:00	14:40～15:10	タイガーエア台湾プレゼンツ 台湾在住フォトグラファー安田夏樹さんによる「台湾路地裏の歩き方」&台湾イラストレーターWHOSMINGによる「最新台湾Cafe紹介」 出演者／団体名：タイガーエア台湾	カニだけじゃない鳥取！鳥取県観光PR 出演者／団体名：とっとり観光親善大使、いりどり日和（鳥取しゃんしゃん傘踊り連）、トリビー（鳥取県PRキャラクター）
	45		
16:00	15:30～16:00	奄美群島の民謡 出演者／団体名：大山 百合香	茨城空港じゃないよ、茨城空港だよ!! 出演者／団体名：茨城空港×スカイマーク（株）
	45		
17:00	16:20～16:50	グアム チャモロ ダンスショー 出演者／団体名：グマ・タオタオ キナフル アッタオ ナ タノ	世界遺産登録30周年！姫路市観光PR！ 出演者／団体名：姫路おしとの女王/しろまるひめ
	45		
18:00	17:10～17:40	コロンビア 美を生きる国 with サルサショー 出演者／団体名：コロンビア大使館商務部	クイズに参加してマカオへ行こう!! 出演者／団体名：マカオ政府観光局／マカオ航空
	45		



10月29日【日】	会場	A ステージ インテックスプラザ	B ステージ 6号館B
	時間		
10:30	10:30～11:00	「グッデイ!!」ではじめよう。オーストラリア!ライブパフォーマンス 出演者／団体名：オーストラリア政府観光局	クイズに正解して四地区の特産品を当てよう! 出演者／団体名：鹿児島県四地区観光連絡協議会
	45		
11:00	11:20～11:50	広島&宮島観光親善大使とゆるキャラの元祖ブンカッキーがご紹介する!G7広島サミットで紹介された広島の人気観光地・特産品等話題沸騰の広島・宮島・呉の魅力 出演者／団体名：2022広島観光親善大使の中本愛、宮島観光親善大使の奥田風花と元祖ゆるキャラブンカッキー、呉市公式キャラクター「呉氏」（映像出演）、広島観光コンベンションビューロー	人形浄瑠璃文楽・三業の解説とミニ公演【実演】二人三番唄～OSAKA BUNRAKUバージョン 出演者／団体名：文楽協会及び桂福龍（落語家）
	45		
12:00	12:10～12:40	出会う・見つける中央アジア ～シルクロードへの旅～ 出演者／団体名：中央アジア5か国パフォーマー	四国を旅しよう! 出演者／団体名：四国
	45		
13:00	13:00～13:30	アイヌ古式舞踊公演とアイヌ伝統楽器の演奏 出演者／団体名：ウポボイ（民族共生象徵空間）	弾丸スペーストラベラー! 初めての月旅行 出演者／団体名：縣 秀彦／一般社団法人宙ツーリズム推進協議会 中島 修／株式会社日本旅行 事業共創推進本部 宇宙事業推進チーム マネージャー
	45		
14:00	13:50～14:20	ワンダフルインドネシア民族芸術 出演者／団体名：ワンダフルインドネシア民族芸術	クイズに参加してマカオへ行こう!! 出演者／団体名：マカオ政府観光局／マカオ航空
	45		
15:00	14:40～15:10	ペルーの国民舞踊 出演者／団体名：エスデ・エス・ミ・ペルー・ハボン・オオサカ	ステージの香り特殊効果演出 出演者／団体名：株式会社SceneryScent
	45		
16:00	15:30～16:00	モンゴルへようこそ 出演者／団体名：プレイ・エンターテインメント XXX	とっとり知ってる?鳥取県ってこんなとこ 出演者／団体名：とっとり観光親善大使、トリビー（鳥取県PRキャラクター）
	45		
17:00	16:30～17:00	グランドフィナーレ/ ご当地キャラクターが大集合!	
	45		

全国ご当地どんぶり選手権
～番外編～

東京ドームで開催されている「ふるさと祭り東京ー日本のまつり・故郷の味ー」の大人気コーナー、全国味自慢のご当地どんぶりが集まり競う「全国ご当地どんぶり選手権」。TEJ2023関西・大阪では、この選手権の「番外編」として、全国から選手権常連のご当地どんぶりや新たに参加する味自慢のご当地どんぶり10品が会場に集結した。

各ブースには昼時を中心に長蛇の列ができ、目の前で提供される出来立てのどんぶりに舌鼓を打つ来場者の姿が見受けられた。



閉会式／グランドフィナーレ

二度目の大阪開催は来場者数148,062人を記録し閉幕
2024年は東京で開催へ

大阪・関西で二度目の開催となった今年は、世界70カ国・地域からの出展があり、4日間で計148,062人という入場者数を記録した。商談会には529名のバイヤーと1,037名のセラーが参加。商談件数も5,768件に上り、充実した観光見本市となった。

閉会式で挨拶に立った高橋広行実行委員長は、「今回のTEJが、観光業界がコロナ禍から回復を遂げ、新しい未来を切り開く大きなターニングポイントになればこの上ない喜び」と大成功を強調した。また、ジェーシービーの岡崎氏は、「毎年ツーリズムの盛り上がりで成長を感じている。4年ぶりの大阪開催に多くの方が足を運んでくれて本当に嬉しい。」などと語った。

ステージでは「ブースグランプリ」表彰式も行われた。業界日の投票で選出される「旅のプロが選ぶブースグランプリ」と、一般日の投票で選出される「旅の愛好家が選ぶブースグランプリ」の2部門で選出。グランプリ、準グランプリ、特別賞、実行委員長賞を計6団体が受賞した。

最後は全国のご当地キャラクターも集合し、盛大なグランドフィナーレを執り行うとともに、2024年に東京で、2025年に大阪・関西万博での再会を約束して閉幕した。



※受賞ブースの写真紹介は、P18を参照。

フードコート
(Food Court)

『関西うまいものコーナー』

行列ができる関西の串かつやお好み焼き、たこ焼き、焼き肉、老舗駅弁など、5店舗が出展。来場者は、関西ならではの名店のグルメを会場で楽しんだ。



『国内外の食コーナー』

日本の酒どころ・新潟の地酒やクラフトビール、季節の和菓子のほか、海外からもアフリカのワニ肉料理やグアムのチャモロ料理などのブースが並び、来場者の人気を集めていた。



2023年10月29日（日）16:30～17:00
インテックス大阪 インテックスプラザ Aステージ



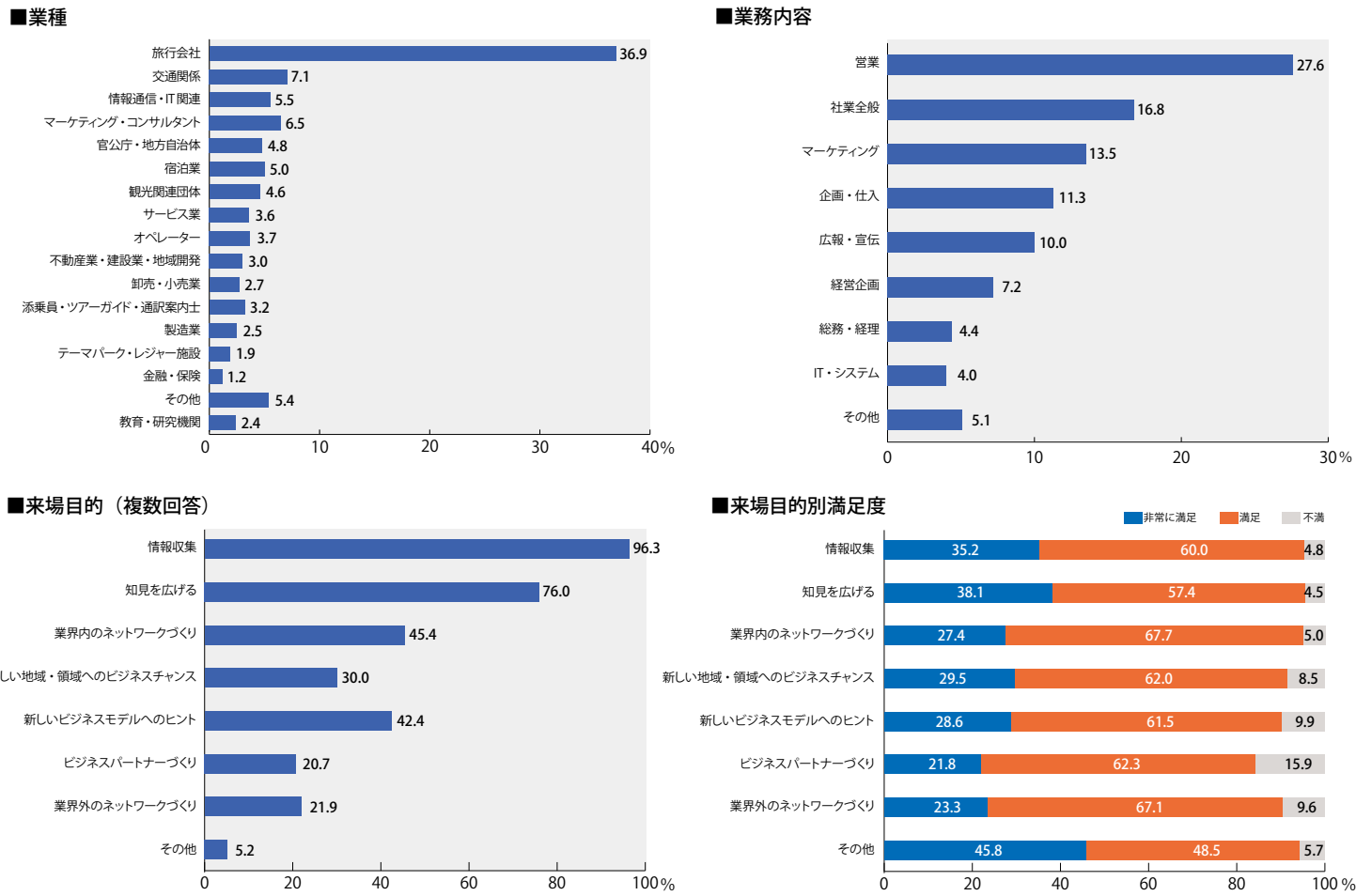
登壇者

〔閉会式〕株式会社ジェーシービー 取締役 兼 常務執行役員 岡崎正明氏
ツーリズムEXPOジャパン実行委員会 委員長 高橋広行
ブースグランプリ受賞者

〔グランドフィナーレ〕出展者（全国・各地のご当地キャラクターなど）

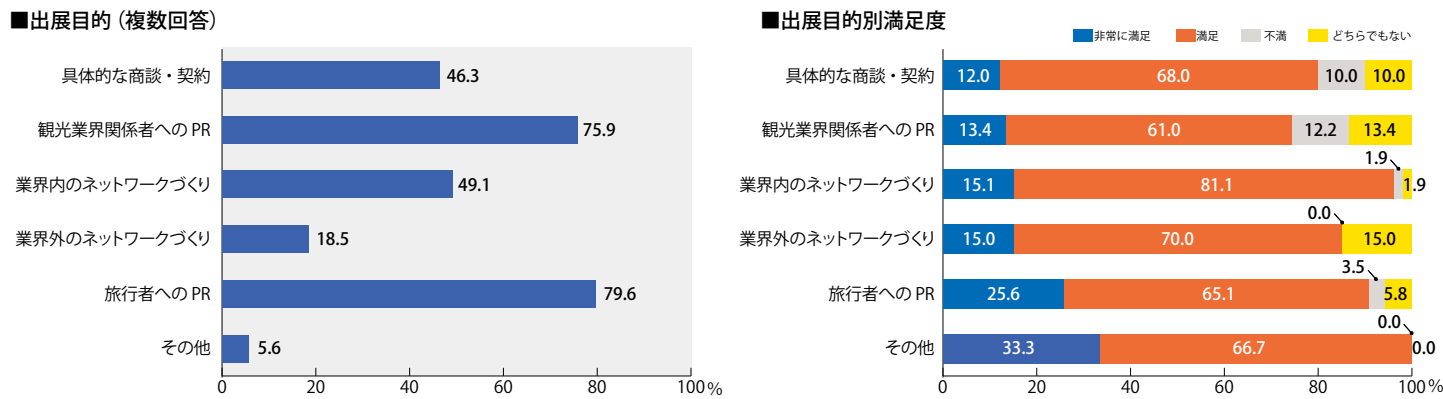
業界来場者／アンケート

来場者の業種は旅行会社が4割弱と突出しているが、「交通関係」のほか、回を重ねるごとに「マーケティング・コンサルタント」「情報通信・IT関連」など、旅行業界以外の業種からも注目を集めつつあることが見て取れる。来場目的を見ると、「情報収集」「知見を広げる」に加え、「業界内のネットワークづくり」「新しいビジネスモデルへのヒント」を求めている来場者も多く、いずれも9割以上と満足度も非常に高い。



出展者アンケート

出展目的は「観光業界関係者へのPR」が8割弱を占めるが、続く「業界内のネットワークづくり」「具体的な商談・契約」が5割弱と、より意欲的な目的を持つ出展者が多く、目的別満足度も8割から9割強と満足度も高くなっている。全体的に商談会への期待の高まりがうかがえる結果となった。

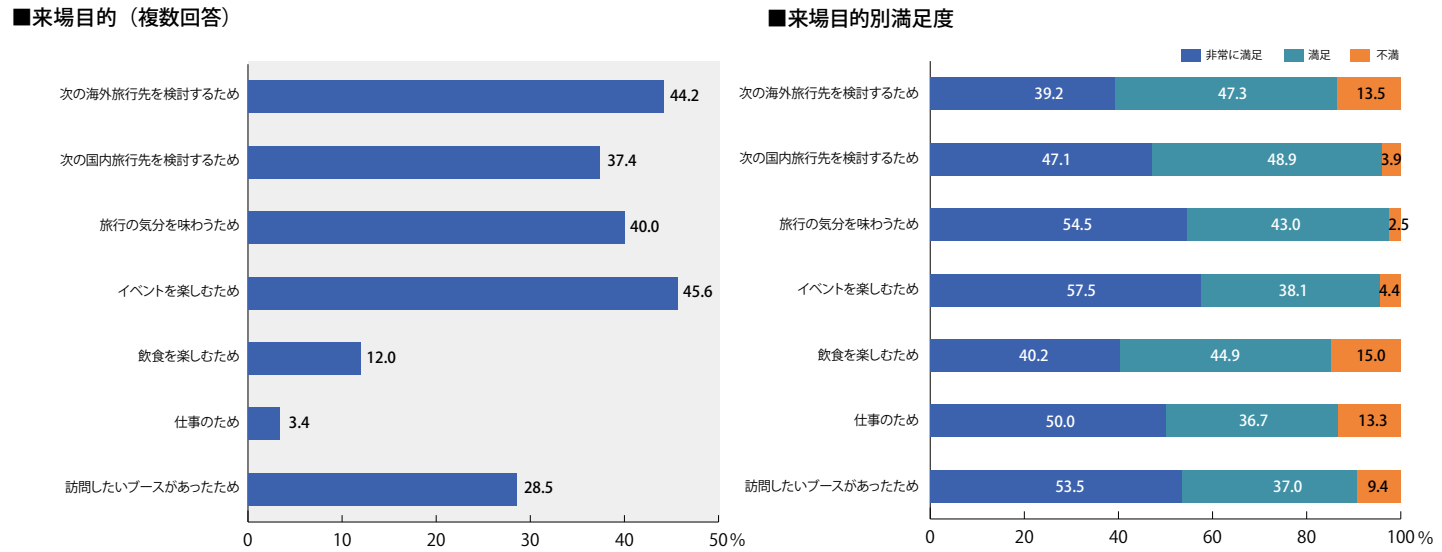


今回の出展で得られた成果

- ・普段会わないような業界関係者関西エリアのエージェントとのコンタクトを得ることができて有意義だった。
 - ・コロナ明けの開催で、バイヤーからも「やはりリアル開催がいいね!」との声が多く、自分もそう思った。
 - ・他のブースの魅力の見せ方、宣伝活動を見ることができ、これからの事業の参考になった。
 - ・日本ではネットワークや商談機会がなかったので、今回の参加によって現状把握や大いにPRができた。
 - ・インバウンドの再開に向けて海外の反応が見られたり、旅行業界以外の方に見ていただけたのが良かった。
- ・消費者からの各種感想などを収集することができ、また海外企業との接点がつくれた。
 - ・業界へのアピール、一般旅行愛好家へのアピールの2つの方法を再考するきっかけとなった。
 - ・主に関西圏来場者の旅行動向を知ることができ、地域に合わせたPR方法が必要であると感じたので、各市町村へ情報を還元したい。
 - ・着ぐるみや写真撮影を通じて、より効果的にPRすることができた。
 - ・4000名超の方にブースにお越しいただき、ピンポイントで訴求できた。

一般来場者／アンケート

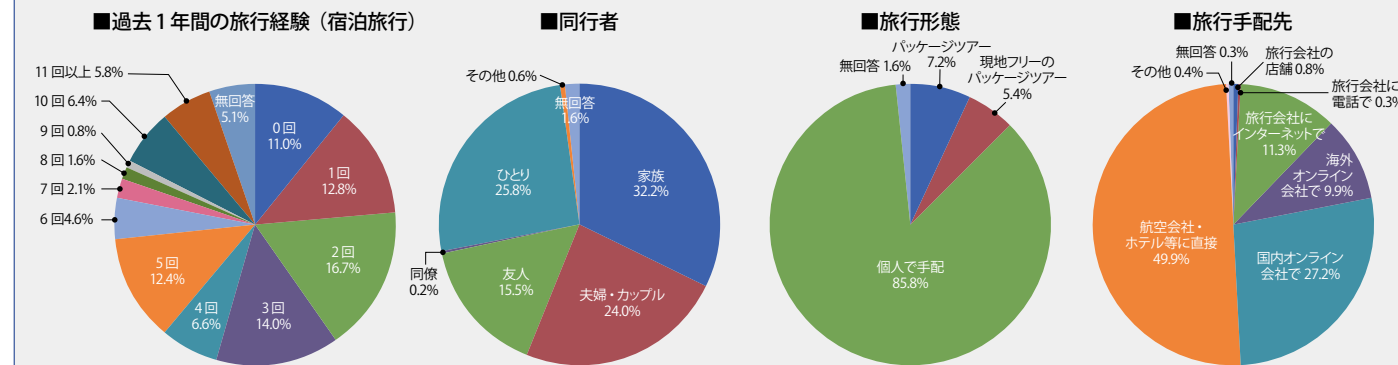
来場者の性別は、女性層が54.0%と若干上回っているものの、男女比はほぼ半々となった。年代別では50代、40代、30代、60代、20代の順となっている。来場目的は「イベントを楽しむため」に次いで「次の海外旅行先を検討するため」が僅差で2位となり、「次の国内旅行先を検討するため」も4割弱を占めるなど、旅行意欲の高い“旅好き”が多く来場し、総じて満足度も高い結果となった。新型コロナウイルス5類移行後の大型旅行イベントということで、最新情報を求めて積極的に出展者と話をする来場者の姿があちこちで見受けられた。



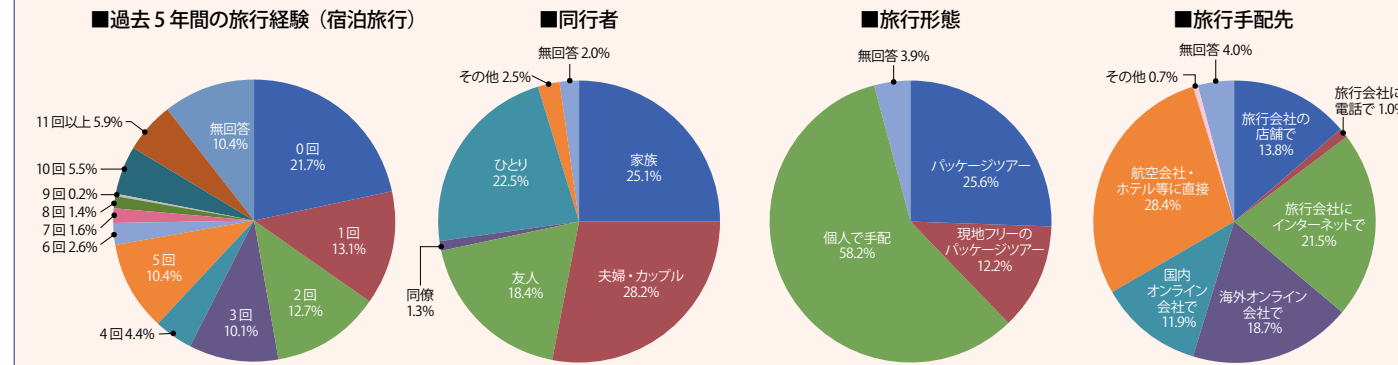
一般来場者の旅行動向

国内旅行は過去1年間の旅行経験2回、3回、1回が、海外旅行は過去5年間の旅行経験0回、1回、2回が上位を占めるものの、新型コロナウイルス5類移行後半年未満であることを考慮すると、旅行意欲は衰えていないことが見てとれる。同行者では、国内旅行は「家族」「ひとり」「夫婦・カップル」が、海外旅行は「夫婦・カップル」「家族」「ひとり」が上位占め、旅行形態も海外・国内とも「個人手配」が多く、プライベート旅行志向の傾向にある。旅行手配先としては、「航空会社・ホテル直接」をはじめ、ネット予約が当たり前になっていることがわかる。

国内旅行



海外旅行



メディア総露出数:1,185件 (4月～10月) 広告換算合計:270,547,163円
メディア来場:テレビ局、新聞社など主要メディアを含む574名 (延べ) が来場

記者会見 開催に向けて

- （1） ツーリズムEXPOジャパン2023 大阪・関西開催概要発表会見**
開催日:7月6日 (木)
場 所:大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪) 12階 会議室 (1202)
内 容:ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西開催概要
出席メディア:17社21名 (TV2局、新聞7紙、ラジオ1局、通信社1社、
専門媒体5社、その他1メディア)
- （2） JATA定例記者会見**
開催日:10月18日 (水)
場 所:JATA研修室 (日本旅行業協会内)
内 容:展示会見どころ、フォーラム&セミナー等、取材ポイント
出席メディア:19社21名 (テレビ1局、一般紙4社、業界11メディア、
通信社2社、ビジネス誌1社)
- （3） 開催初日主催団体記者会見**
開催日:10月26日 (木)
場 所:インテックスプラザ ステージA
内 容:開催概要更新情報、広報アンバサダー紹介
出席メディア:出席メディア:34名 (新聞・通信社6社、業界20メディア)

■ 新聞・雑誌:125件

京都新聞 7月7日 (金) 朝刊



読売新聞大阪 7月7日 (金)



■ テレビ:6局8番組 (10月)



■ 制作物



■ SNSでの告知協力

主に関西地区におけるイベントの認知向上、来場推進、旅行機運醸成を図るため、大阪で組織されたブランド広報部会、展示営業・商談部会の委員各社の公式SNSにて開催告知の一斉投稿を9月末より毎週木曜日に実施。実施日:9月28日、10月5日、12日、19日、26日

◆宣伝協力団体/企業 (抜粋)



■ その他告知協力



ツーリズムEXPOジャパン2023 全体スケジュール

日	会場	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
10月26日 (木)	インテックス大阪 インテックスプラザ	オープニングセレモニー／ ジャパン・ツーリズム・ アワード表彰式 9:30 - 10:00 / 10:10 - 11:00		主催者記者会見 11:15 - 11:45		民間部門における世界観光倫理憲章署名式 14:00 - 14:20						Welcome Reception 18:00 - 19:40
	インテックス大阪 国際会議ホール						基調講演 13:15 - 13:45	第6回TEJ観光大臣会合 14:20 - 16:20				
	インテックス大阪 展示場 2～6号館	展示商談会 10:00 - 18:00										
		トラベルソリューション展2023 10:00 - 18:00										
		VIST JAPANトラベル&MICEマート (VJTM) 2023 11:00 - 18:00 主催：日本政府観光局 (JNTO)										
インテックス大阪 5号館 セミナールーム		ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:30 - 18:00										
10月27日 (金)	インテックス大阪 国際会議ホール		日本人の海外旅行促進に関するシンポジウム 10:30 - 12:00		万博×観光シンポジウム 13:00 - 14:30		アドベンチャーツーリズムシンポジウム 15:30 - 17:00					
	インテックス大阪 展示場 2～6号館	展示商談会 10:00 - 18:00										
		トラベルソリューション展2023 10:00 - 18:00										
		VIST JAPANトラベル&MICEマート (VJTM) 2023 9:00 - 18:00 主催：日本政府観光局 (JNTO)										
	インテックス大阪 5号館 セミナールーム		ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:30 - 18:00									
10月28日 (土)	インテックス大阪 展示場 2～6号館	展示会 (一般日) 10:00 - 18:00										
		VIST JAPANトラベル&MICEマート (VJTM) 2023 9:00 - 12:00 主催：日本政府観光局 (JNTO)										
10月29日 (日)	インテックス大阪 展示場 2～6号館	展示会 (一般日) 10:00 - 17:00										閉会式・グランドフィナーレ 16:30 - 17:00

開催テーマとキービジュアル

ツーリズムEXPO ジャパン2023 大阪・関西 開催テーマ

未来に出会える旅の祭典

OPEN THE DOOR TO THE FUTURE

- (1) 旅の未来像を発信していく絶好の機会として開催
- (2) 2025大阪・関西万博の開催につなぐイベントとして開催
- (3) アジアのゲートウェイ関西から新しい日本の魅力を世界に発信
- (4) 観光が地域の持続可能な発展に貢献

キービジュアル クリエイティブコンセプト

まだ見ぬ景色に、体験に、旅先に、一歩踏みだすワクワク感や「新たな旅のスタイル」が、すぐ目の前に広がっていることを『多種多様な旅の入り口・楽しみ方』→『多彩な色合いのドア (TEJ)』をモチーフに、そのドア (TEJ) を開ける旅行者の高揚感あふれる表情で表現。世界の名所・旅先に囲まれているような画づくりにすることで『旅の中心にいる主人公』を強調。新しい旅の幕開けが・新しい体験が・新しい未来が、いくつも目の前に出現していることを、(イベント会場にもたくさんの旅の入り口があることを) 映画ポスターのようなファンタジックな世界観で、旅することの直感的な楽しさを強く印象付ける。



運営／協賛・協力機関団体リスト

【主 催】公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)、日本政府観光局 (JNTO)

組織委員会

〈委員長〉

山西 健一郎 公益社団法人日本観光振興協会 会長

〈副委員長〉

高橋 広行 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 会長
ツーリズムEXPOジャパン実行委員会 委員長
蒲生 篤実 日本政府観光局 (JNTO) 理事長

〈委員〉

植木 義晴 公益社団法人日本観光振興協会 副会長
日本航空株式会社 取締役会長
大西 雅之 一般社団法人日本旅館協会 会長
岡崎 正明 株式会社ジェシービー 取締役兼常務執行役員
片野坂 真哉 公益社団法人日本観光振興協会 副会長
ANAホールディングス株式会社 代表取締役会長
喜勢 陽一 東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長
後藤 高志 公益社団法人日本観光振興協会 副会長
株式会社西武ホールディングス 代表取締役会長 兼 CEO
小谷野 悦光 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 副会長
株式会社日本旅行 代表取締役社長

近藤 幸二 一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA) 副会長
酒井 淳 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 副会長
株式会社阪急交通社 代表取締役社長

坂本 雅彦 東京都 産業労働局長
白石 隆夫 環境省 自然環境局長
角 和夫 公益社団法人関西経済連合会 副会長
阪急電鉄株式会社 会長

高橋 亨 BOAR (在日航空会社代表者協議会) 議長
ユナイテッド航空会社 ディレクター
武内 紀子 一般社団法人日本経済団体連合会 審議員会副議長／観光委員長
株式会社コングレ 代表取締役社長

都倉 俊一 文化庁 長官
原 優二 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 副会長
株式会社風の旅行社 代表取締役

原田 一之 一般社団法人日本民営鉄道協会 会長
京浜急行電鉄株式会社 取締役会長
福島 伸一 公益財団法人大阪観光局 会長
開催地連絡協議会 会長

フレデリック・マゼンク 駐日外国政府観光局協議会 会長
フランス観光開発機構 在日代表

室伏 広治 スポーツ庁 長官
茂木 正 経済産業省 商務・サービス審議官
山北 栄二郎 株式会社JTB 代表取締役 社長執行役員
由木 文彦 東日本高速道路株式会社 代表取締役社長
高橋 一郎 国土交通省 観光庁 長官

〈監事〉

天野 啓史 日本航空株式会社 監査役室マネージャー
田中 正人 田中正人税理士事務所 所長

実行委員会

〈委員長〉

高橋 広行 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 会長

〈副委員長〉

最明 仁 公益社団法人日本観光振興協会 理事長
高橋 広治 日本政府観光局 (JNTO) 理事長代理

〈委員〉

本保 芳明 国連世界観光機関駐日事務所 代表
石井 智二 全日本空輸株式会社 上席執行役員 CX推進室 室長
石塚 智之 国土交通省 観光庁 審議官
今泉 典彦 一般社団法人日本経済団体連合会 観光委員会 企画部会長
株式会社第一生命経済研究所 総合調査部
マクロ環境調査グループ 研究理事
遠藤 克己 日本政府観光局 (JNTO) 理事
蝦名 邦晴 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 理事長
内元 清貴 グローバルコミュニケーション開発推進協議会 事務局代表
浦崎 秀行 公益財団法人東京観光財団 常務理事兼総務部長
北村 豪 株式会社JTB 執行役員 ツーリズム事業本部
西日本エリア広域代表 大阪・関西万博推進担当 大阪IP推進担当
清水 哲夫 東京都立大学 都市環境学部観光科学科教授
金沢大学 先端観光科学研究所特任教授
鈴木 昭久 公益社団法人日本観光振興協会 副理事長

東井 芳隆 一般財団法人関西観光本部 代表理事／専務理事
中野 星子 日本航空株式会社 執行役員 ソリューション営業本部 営業統括
中原 裕彦 文化庁 文化戦略官
平澤 哲哉 東京商工会議所 地域振興部 部長
平田 知敬 公益財団法人大阪観光局 常務理事
藤原 健一 近畿日本ツーリスト株式会社 執行役員 法人MICE事業部長
藤原 卓行 株式会社JTB 執行役員 仕入商品事業部長
古澤 英樹 東日本旅客鉄道株式会社 観光戦略室 室長
星野 芳隆 スポーツ庁 審議官
水谷 努 環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室 室長
宮澤 伸 日本商工会議所 地域振興部 部長
向井 一弘 東京都 産業労働局観光部 部長
村見 拓一 東武トップツアーズ株式会社 執行役員 営業統括本部 国内旅行部長
吉田 尚史 株式会社日本旅行 執行役員 営業戦略本部 統括副本部長

ツーリズムEXPOジャパン2023 大阪・関西 開催地連絡協議会

〈会長〉

福島 伸一 公益財団法人大阪観光局 会長

〈副会長〉

中野 亮一 大阪商工会議所 理事 中小企業振興部長

〈委員〉

市政 誠 大阪府府民文化部 都市魅力創造局長
大塚 順一 阪急阪神ホールディングス株式会社 執行役員
岡部 ジェム 関西エアポート株式会社 マーケティング部 部長
藤原 幸嗣 国土交通省近畿運輸局 観光部長
岸上 敦 近鉄グループホールディングス株式会社 事業戦略部長
桑原 耕一 大阪市高速電気軌道株式会社 交通計画部部長 (営業企画担当)
近野 薫 京阪ホールディングス株式会社 経営企画室事業推進担当
(体験価値共創) 部長

東井 芳隆 一般財団法人関西観光本部 代表理事／専務理事
中村 一男 一般財団法人大阪国際経済振興センター 理事長
野口 礼子 関西広域連合 広域観光・文化・スポーツ振興局 局長
徳田 龍裕 公益社団法人関西経済連合会 産業部 担当部長
廣瀬 茂夫 一般社団法人関西経済同友会 常任幹事 事務局長
岩城 弘明 西日本旅客鉄道株式会社 理事 鉄道本部営業本部長
折原 真子 大阪市経済戦略局 理事
今中 雄一 南海電気鉄道株式会社 公共交通グループ 鉄道事業本部 運輸車両部長

【特別協力】 一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA)

【開催支援】 ツーリズムEXPOジャパン2023 大阪・関西 開催地連絡協議会

【後 援】 国土交通省、国土交通省 観光庁、総務省、外務省、スポーツ庁、文化庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、公益財団法人大阪観光局、独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会、一般財団法人関西観光本部、日本商工会議所、東京商工会議所、大阪商工会議所

【企画・運営】 ツーリズムEXPOジャパン推進室

【協 賛】

●特別協賛

オフィシャルスポンサー：株式会社ジェシービー
デスティネーションパートナー：インド政府観光省

●展示商談会

ゴールドスポンサー：関西エアポート株式会社、サウジアラビア政府観光局
シルバースポンサー：日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、ハワイ州観光局、日本空港ビルデング株式会社／東京国際空港ターミナル株式会社、株式会社BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS

ブロンズスポンサー：合同会社ユー・エス・ジェイ、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社オリエンタルランド

賛助協賛：東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社

VIPバス・ストラップ、業界来場バスケーススポンサー：サウジアラビア政府観光局
TEJバッグスポンサー：株式会社旅行総研

●Welcome Reception

シルバースポーター：日本航空株式会社、全日本空輸株式会社
物品協賛：サントリーホールディングス株式会社、お好み焼 千房、たこ家 道頓堀くくる
協力：灘五郷酒造組合
事業協力：大阪府、兵庫県

(※順不同)
2023年10月1日現在)



ツーリズムEXPOジャパン 2024

「ツーリズムEXPOジャパン2024」出展申込受付中！

2024年 **9/26** 木 - **9/29** 日

開催時間 **業界・プレス** 26日 10:00～18:00 **一般** 28日 10:00～18:00
27日 10:00～18:00 29日 10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト **来場者数** (見込) 180,000人 (業界58,000人、一般122,000人)

主催 公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会、日本政府観光局

合同開催 VISIT JAPANトラベル & MICEマート2024 / 主催：日本政府観光局 (予定)

共同開催 トラベルソリューション展2024 / 主催：ツーリズムEXPOジャパン、日本経済新聞社 (予定)

ツーリズムEXPOジャパン2023 大阪・関西 開催実績

2023 年来場者数

合計 148,062 人
・10/26 (木) 業界・プレス日 23,071人
・10/27 (金) 業界・プレス日 26,089人
・10/28 (土) 一般日 48,305人
・10/29 (日) 一般日 50,597人

商談 件数

5,768 件

2023 年出展者数

1,442 小間 **1,275 企業・団体**

参加セラー数

1,037 名

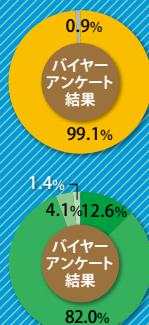
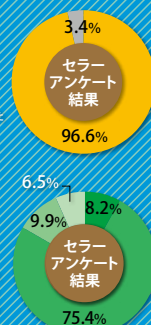
参加バイヤー数

529 名

商談会参加者アンケート

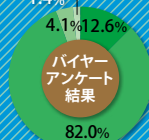
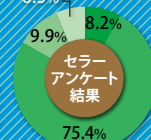
商談会は
有益でしたか

● 有益だった
■ 有益ではなかった



期待していた
内容の商談が
できましたか

● 期待以上だった
■ 期待通りだった
■ 期待以下だった
■ その他



料金表

出展料	申込締切日	基礎小間	スペース (敷地のみ)
	早期割引 (8%引き) 2024年2月29日 (木)	¥563,200 (税込) / 小間 (9㎡)	¥507,100 (税込) / 9㎡
	通常 2024年4月30日 (火)	¥612,700 (税込) / 小間 (9㎡)	¥551,100 (税込) / 9㎡

(注) 基礎小間、スペースの仕様は、ホームページにてご確認ください。スペース (敷地のみ) の場合は、36㎡以上のお申込にてお受けします。

お申込みは公式サイトから! <https://t-expo.jp/exhibit2024>

[問合せ先] ツーリズムEXPOジャパン推進室

E-mail: event@t-expo.jp TEL: 03-5510-2004

各種情報・資料等の閲覧、ダウンロードはこちら

公式ホームページ <https://t-expo.jp>